

# 図書館事業計画

(2013 年度～2017 年度)

2013 年 4 月  
町田市立図書館



## 事業計画策定にあたって

町田市立図書館（以下「図書館」という）では、2003年1月に定めた「サービス理念と目標」に基づき事業を進めてまいりました。その後、社会環境など外部環境が変化したことを踏まえ、新たな「理念と目標」を策定すべく、2010年2月、その検討を町田市立図書館協議会にお願いし、2011年7月、新たな「町田市立図書館運営理念と目標」（以下「図書館運営理念と目標」という）として答申をいただきました。

本計画は、その答申を受け、新たな「図書館運営理念と目標」を定め、加えて、その理念と目標の実効性を担保するために、具体的な施策及び事業を定めるものです。

また、町田市には、2012年度に策定した、「まちだ未来づくりプラン」及び「新5ヵ年計画」、2009年度に策定し現在改訂作業中の、「まちだ教育プラン」などがあり、これらのプランにも図書館の施策、事業が記載されています。本計画は、それら上位計画における施策、事業の実現も加味した上で策定しています。

今後、図書館は、本計画に沿って事業を進め、適宜、その達成状況および活動状況を精査の上、事業効果を確認し、事業改善を進めます。また、併せてその結果を公表し、図書館事業の見える化も進めてまいります。その際には、その結果をご確認いただき、忌憚のないご意見をいただけたらと考えております。

皆様には、これら計画策定の意図をお汲み取りいただき、より良い図書館づくりにご理解とご協力をお願いいたします。

2013年 4月 1日

町田市立図書館



## 目 次

事業計画策定にあたって	.....	1
I.事業計画策定の考え方	.....	5
II. 図書館運営理念と目標	.....	7
III. 施策目標及び施策	.....	9
IV. 事業活動と施策	.....	43
V. 事業計画	.....	49
VI. 計画を進めるにあたって	.....	67
巻末資料.		
施策一覧<別紙1>	.....	69
館別実施事業<別紙2>	.....	76
資料閲覧貸出事業資料別内訳<別紙3>	.....	77



# I. 事業計画策定の考え方



## I. 事業計画策定の考え方

### 1. 策定の目的

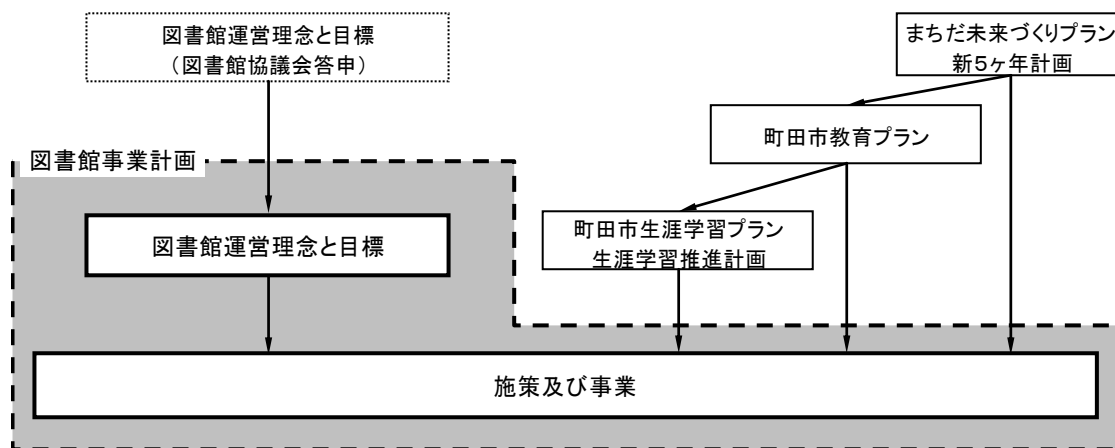
本事業計画は、図書館協議会に諮問し、2011年度に答申を受けた「図書館運営理念と目標」を市の理念、目標として決定するとともに、それを実現する施策を明らかにし、事業に結びつけることにより、「図書館運営理念と目標」実現の道筋を示すことを目的としています。

また、上位計画である「まちだ未来づくりプラン」、同「新5ヶ年計画」および、「町田市教育プラン」に記載の施策実現も対象としています。

### 2. 事業計画の位置づけ

図書館事業計画と上位計画との関係は以下のとおりです。

＜図書館事業計画の位置づけ＞



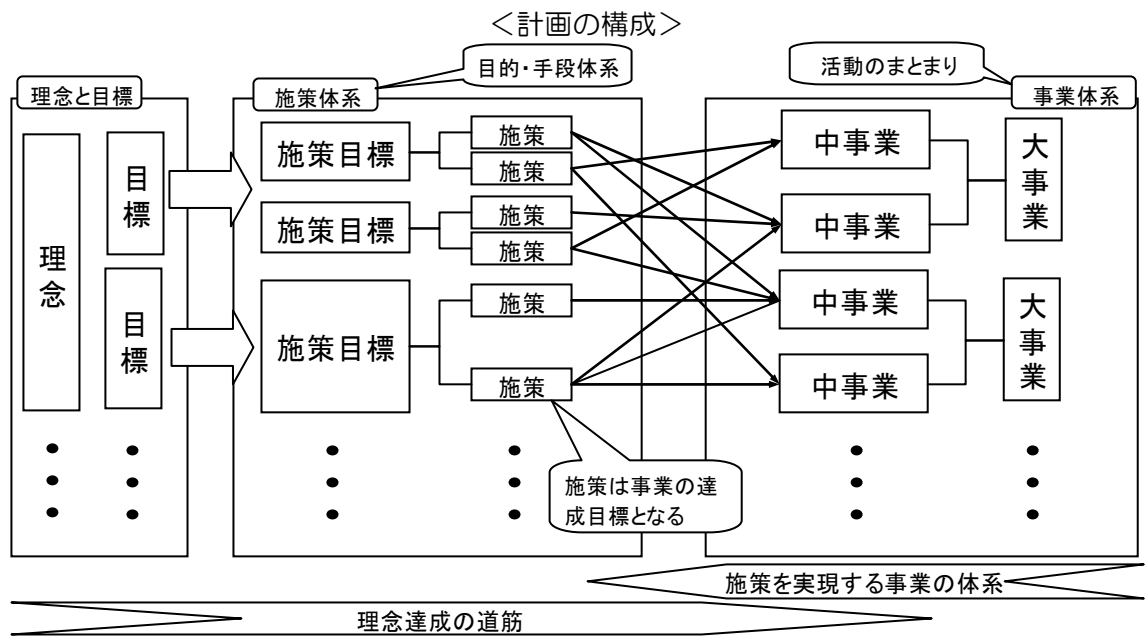
### 3. 計画で明らかにすること

本計画では、以下の事柄について明らかにします。

- ① 理念を達成する道筋を示すこと。
- ② 理念を達成する方策（施策）を明らかにすること。
- ③ 方策（施策）を事業活動の達成目標として、活動の合目的性を明らかにすること。
- ④ 図書館事業を進める上での、重点課題を明示し、その解決策である重点施策、重点事業を提示すること。
- ⑤ 事業活動に必要な予定資源を明示すること。

### 4. 計画の構成

計画は、「理念と目標」、「施策体系」、「事業体系」で構成して記述するとともに、それぞれの指示関係を明らかにします。



## 5. 計画期間

本計画の計画期間は、

2013年度 から 2017年度

の5ヶ年とします。

## Ⅱ. 図書館運営理念と目標



## Ⅱ. 図書館運営理念と目標

図書館協議会答申（2011年7月）を受け、「図書館の運営理念と目標」を以下のとおり定めます。

### 【運営理念Ⅰ】 図書館は、市民の知る自由を保障し、学ぶ機会を提供します。

【説明】 図書館は、市民の生涯学習の拠点として、市民生活に役立つ情報と資料を揃えています。市民は、必要なときはいつでも、どこからでも、必要とする情報と資料を要求することができます。図書館は、できる限りの手立てを尽くして市民の要求に応える責務があると考えています。それは、図書館が、「図書館の自由に関する宣言」の立場に立ち市民の知る自由を守るとともに、地域の民主主義を支える大切な機関でなければならないからです。

#### 【運営目標】

- I-1. 市民のニーズや時代に適応した図書館運営をめざします。
- I-2. 生涯学習の拠点として、生活と学習に役立つ資料・情報を収集します。
- I-3. 市民がいつでも、どこでも、だれでも、等しくサービスを受けられる体制を築きます。
- I-4. 「図書館の自由に関する宣言」を支持し、遵守します。
- I-5. 図書館利用が困難な人々へのサービスを展開します。
- I-6. 情報通信技術（ICT）を積極的に活用し、インターネットやデータベースを提供します。

### 【運営理念Ⅱ】 図書館は、人々が出会う場を提供し、地域の発展を支援します。

【説明】 図書館は、資料・情報を提供することによって市民のさまざまな活動を支え、そこから生まれる市民相互の交流の場を提供します。図書館は、資料・情報を提供することによって、地域のさまざまな課題の解決を支援します。図書館は、市民が力を合わせて課題を解決することは地域の発展に繋がると考えています。よって、図書館機能のすべてにおいて、よりよい町をつくる市民の活動を支援します。

#### 【運営目標】

- Ⅱ-1. 市民に親しまれる図書館をめざします。
- Ⅱ-2. 図書館が市民にとって使いやすい施設となるように改善・整備します。
- Ⅱ-3. 図書館は、市民の安息・安心の場を提供します。
- Ⅱ-4. 子どもたちが豊かな心と生きる力を育むことができるような活動を実施します。
- Ⅱ-5. 家庭と学校や地域と連携して、子どもの読書活動を推進します。
- Ⅱ-6. 高齢者の生活に相応しい図書館活動を展開します。
- Ⅱ-7. 地域の課題解決やそのための市民の取り組みへの展開を支援します。
- Ⅱ-8. 行政に関わる人々への資料・情報の提供を積極的に行います。

### 【運営理念Ⅲ】 図書館は、市民文化の創造・発展に貢献します。

【説明】 図書館は、市民が余暇や趣味を充実させるための資料・情報を提供します。図

書館を利用することによって、市民がさまざまな価値を生み出し、人生をより深く豊かにいきることを支援します。

図書館は、歴史的なものに限らず、文化や生活の記録を含む過去を保存する機能を持っています。図書館は、市民が過去を紐解くことによって、新しい市民文化を創造することに貢献したいと考えています。そして、図書館は、次の世代のために、市民の創造した文化を保存します。

#### 【運営目標】

- Ⅲ-1. 市民文化に寄与するあらゆる資料・情報の提供に努めます。
- Ⅲ-2. 地域資料および地方行政資料・情報の収集と提供に力を尽くします。
- Ⅲ-3. 市民文化とまちづくりに役立つ図書館をめざします。
- Ⅲ-4. 市民の文化活動のための機会と場を提供します。
- Ⅲ-5. 多文化共生社会の視点に立つ図書館活動を進めます。
- Ⅲ-6. 図書館から新しい地域情報の発信に努めます。

#### 【運営理念Ⅳ】 図書館は、市民と共に考え、市民と共に歩みます。

【説明】 図書館は、市民の声によって成長、発展する有機体です。現代社会の変化に敏感に対応し、未来の社会への架け橋となって、市民と共に成長していきます。多くの市民が、よりよい図書館づくりのために、自ら積極的に発言し行動されることを期待するものです。

#### 【運営目標】

- Ⅳ-1. 図書館活動への市民参画・協働を推進します。
- Ⅳ-2. 図書館協議会の答申や運営への意見を重視し、図書館づくりのために協働します。
- Ⅳ-3. 図書館活動を市民のなかへ積極的にPRします。
- Ⅳ-4. 日常的に利用者との対話を重視し、利用者の声を活動に反映します。
- Ⅳ-5. 図書館活動に関わるボランティアを支援します。

#### 【運営理念Ⅴ】 図書館は、職員の専門的能力と資質の向上に努めます。

【説明】 図書館が市民へのサービスを遂行するためには、図書館に関する知識と能力ならびに豊富な経験を持つ専門的職員（司書）が配置されていなければなりません。このような力量のある職員が育つまでには相当の年数が必要です。図書館は、職員の自覚的な学びとともに公的な研修の場を保障して、職員の専門的能力と資質の向上に努めます。

#### 【運営目標】

- V-1. 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成に努めます。
- V-2. 図書館員は、その専門的な技術と能力を積極的に市民に提供します。
- V-3. 「図書館員の倫理綱領」に則って行動します。
- V-4. 館長は職員の資質向上に資する研修等を行うとともに、職員が専門性を発揮できる環境を整備します。

### Ⅲ. 施策目標及び施策



### Ⅲ. 施策目標及び施策

#### 1. 施策目標及び施策設定の考え方

図書館運営目標を達成するため、まず、施策の上位の意図として施策目標を定め、それを実現するための施策を記述しています。施策は、サービス及び資源の二つの観点で分類し、サービスは、活動としての「取組」、システムとしての「仕組」、職員対応のあり方としての「職員」に、資源は、図書館の基礎資源である「資料」、サービスの拠点である「施設」、サービスを展開する「空間」に細分化して記述しています。

また、同じ施策が複数の施策目標に貢献することがあり、その際は「再掲」として標記しています。

#### 2. 施策体系

運営理念実現の目的体系である「施策体系」を以下に示します。

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID
Ⅰ図書館は、市民の知る自由を保障し、学ぶ機会を提供します。	1 市民のニーズや時代に適応した図書館運営をめざします。	i.利用しやすい図書館にします	① セルフサービスによる貸出返却、予約受取		サービス>仕組	2-1
			② プライバシーに配慮した職員対応		サービス>職員	3-1
			③ 相談しやすい雰囲気づくり		サービス>職員	3-2
			④ 開放感のある明るい施設		資源>施設	5-1
			⑤ ユニバーサルな施設、設備		資源>施設	5-2
			⑥ いつでも予約受取、返却できる施設の整備		資源>施設	5-12
			⑦ 見つけやすい、調べやすい配置		資源>空間	6-8
			⑧ プライバシーに配慮した空間		資源>空間	6-6
			⑨ 開放感のある空間		資源>空間	6-1
		ii.利用者のニーズに応える図書館にします	① 充実したリクエスト制度		サービス>仕組	2-6
			② 知識豊富な職員の配置		サービス>職員	3-5
			③ 求める資料が得られる		資源>資料	4-2
			④ 豊富な資料を提供する		資源>資料	4-1
		iii.時代に適応した図書館にします	① 地域の活動を支援する		サービス>取組	1-18
			② 市民が参加できる		サービス>取組	1-15
			③ 電子図書館の開設		サービス>仕組	2-4
			④ 地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報とIT情報の一体化		サービス>仕組	2-19

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID	
	2 生涯学習の拠点として、生活と学習に役立つ資料・情報を収集します。	i.社会動向、地域特性に立脚した資料収集をすすめます	① 他図書館との緊密な資料連携		サービス>仕組	2-27	
			② バランスの取れた資料収集と保存		資源>資料	4-3	
			③ 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信		資源>資料	4-8	
	3 市民がいつでも、どこでも、だれでも、等しくサービスを受けられる体制を築きます。	i.いつでも利用できる図書館にします	① 電子図書館の開設	再掲	サービス>仕組	2-4	
			② ニーズに配慮した開館日、開館時間		サービス>仕組	2-20	
			③ 開館日、開館時間に配慮した職員の配置		サービス>職員	3-10	
		ii.どこでも利用できる図書館にします	① 本を自宅まで届ける		サービス>仕組	2-8	
			② 地域文庫との連携強化		サービス>仕組	2-25	
			③ 地域館を整備する		資源>施設	5-7	
			④ 資料受渡所を設置する		資源>施設	5-10	
			⑤ 移動図書館車サービス		資源>施設	5-11	
		iii.誰でも利用できる図書館にします	① 朗読、録音、点字翻訳をする		サービス>取組	1-13	
			② 相互利用市の市民も同等に利用できる環境づくり		サービス>仕組	2-7	
		4 「図書館の自由に関する宣言」を支持し、遵守します。	i.「図書館の自由に関する宣言」の理解を深め、広めます	① 「図書館の自由」を広く周知する		サービス>取組	1-23
				② 時代の状況を見据えた対応		サービス>仕組	2-18
	③ 図書館の自由検討事例を収集、蓄積する				サービス>仕組	2-41	
	④ 公正な議論の場を設ける				サービス>仕組	2-35	
	⑤ 「図書館の自由宣言」の理解を深める				サービス>職員	3-11	
	5 図書館利用が困難な人々へのサービスを展開します。	i.視覚障がい者向けサービスを提供します	① 朗読、録音、点字翻訳をする	再掲	サービス>取組	1-13	
			② ボランティアとの連携を強める		サービス>取組	1-29	
			③ 本を自宅まで届ける		サービス>仕組	2-8	
④ 他機関と緊密に連携する				サービス>仕組	2-28		
ii.移動困難者向けサービスを提供します		① ボランティアとの連携を強める	再掲	サービス>取組	1-29		
		② 本を自宅まで届ける	再掲	サービス>仕組	2-8		
		③ 移動図書館車サービス	再掲	資源>施設	5-11		
iii.精神、知的障がい者の利用環境を整えます		① ボランティアとの連携を強める	再掲	サービス>取組	1-29		
		② 法人、障がい者団体の本を活用した活動を後方支援する		サービス>取組	2-42		

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID		
	6 情報通信技術（ICT）を積極的に活用し、インターネットやデータベースを提供します。	i.メディアに囚われないサービスを提供します。	① メディアに囚われないレファレンスサービス		サービス>仕組	2-9		
			② メディアに囚われない収集		資源>資料	4-7		
			③ インターネット接続サービス		資源>施設	5-13		
			④ インターネット検索機器を配置		資源>施設	5-14		
		ii.複合した資料を適切に提供します	① 資料本体と付録の的確管理		サービス>仕組	2-2		
			② シリーズ本の希望順提供		サービス>仕組	2-3		
		II 図書館は、人々が出会う場を提供し、地域の発展を支援します。	1 市民に親しまれる図書館をめざします。	i.訪れやすい図書館にします	① ニーズに配慮した開館日、開館時間	再掲	サービス>仕組	2-20
					② 交通利便性の高い立地		資源>施設	5-8
③ 居心地のよい空間					資源>空間	6-4		
ii.使いやすい図書館にします	① ニーズに配慮した開館日、開館時間			再掲	サービス>仕組	2-20		
	② 適度な利用者サポート				サービス>職員	3-4		
	③ 求める資料が得られる				資源>資料	4-2		
	④ ユニバーサルな施設、設備			再掲	資源>施設	5-2		
	⑤ わかりやすい書架配置				資源>空間	6-9		
iii.こころ安らぐ図書館にします	① 明るく、優しい対応				サービス>職員	3-3		
	② ゆったりとした空間				資源>空間	6-3		
iv.楽しい図書館にします	① 子どもが楽しめる事業を実施する				サービス>取組	1-6		
	② 高齢者が楽しめる事業を実施する				サービス>取組	1-9		
	③ 季節感のある設え			資源>空間	6-5			
	④ 明るい空間			資源>空間	6-2			
2 図書館が市民にとって使いやすい施設となるように改善・整備します。	i.安全で使いやすい図書館にします		① 危機を管理する		サービス>仕組	2-34		
			② 危機管理能力を高める		サービス>職員	3-9		
			③ ユニバーサルな施設、設備	再掲	資源>施設	5-2		
			④ 老朽化に対応し常に安全を保つ		資源>施設	5-3		
			⑤ ゆったりとした空間	再掲	資源>空間	6-3		
3 図書館は、市民の安息・安心の場を提供します。	i.ゆったりとくつろげる図書館にします		① 複合施設として整備する		資源>施設	5-9		
		② 居心地のよい空間	再掲	資源>空間	6-4			
		③ ゆったりとした空間	再掲	資源>空間	6-3			
		④ 干渉されない空間		資源>空間	6-7			

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID
	4 子どもたちが豊かな心と生きる力を育むことができるような活動を実施します。	i.子どもが本に親しめる図書館にします	① 子どもが楽しめるサービスを実施する		サービス>取組	1-7
			② 読みたい本がある		サービス>取組	1-1
			③ 子ども向け資料の充実		資源>資料	4-5
			④ 本を見つけやすい書架		資源>施設	5-6
			⑤ 会話ができる空間		資源>空間	6-10
		ii.親子で本に親しめる図書館にします	① 親子向けサービスを実施する		サービス>取組	1-8
			② 読みたい本がある	再掲	サービス>取組	1-1
			③ 本を見つけやすい書架	再掲	資源>施設	5-6
			④ 会話ができる空間	再掲	資源>空間	6-10
		iii.子どもの読書習慣が身につく図書館にします	① お薦め本を紹介する		サービス>取組	1-2
			② 達成感が得られる読書活動支援		サービス>仕組	2-13
			③ 相談しやすい雰囲気づくり	再掲	サービス>職員	3-2
		iv.成長に応じた知識の習得ができる図書館にします	① 自主学習を支援する		サービス>取組	1-4
			② 自立学習型レファレンス		サービス>仕組	2-10
			③ 相談しやすいカウンター		サービス>仕組	2-5
			④ レファレンス精度を向上する		サービス>職員	3-7
	⑤ 成長に応じた知識習得のシナリオ化			資源>資料	4-10	
	⑥ 学習できる空間			資源>空間	6-11	
	5 家庭と学校や地域と連携して、子どもの読書活動を推進します。	i.学校、地域と連携します	① 学校事業を支援する		サービス>取組	1-21
			② 地域の団体と連携する		サービス>取組	1-19
			③ 学校図書館との連携強化		サービス>仕組	2-26
④ 地域文庫との連携強化				サービス>仕組	2-25	
ii.家族の読書活動を支援します		① 親子向けサービスを実施する	再掲	サービス>取組	1-8	
		② 読みたい本がある	再掲	サービス>取組	1-1	
		③ 会話ができる空間	再掲	資源>空間	6-10	
6 高齢者の生活に相応しい図書館活動を展開します。	i.移動制約を受けない図書館の利用を促進します	① 本を自宅まで届ける	再掲	サービス>仕組	2-8	
		② 移動図書館車サービス	再掲	資源>施設	5-11	
	ii.居場所づくりを支援します	① 定期的に催し物を開催する		サービス>取組	1-5	
		② 複合施設として整備する	再掲	資源>施設	5-9	
	iii.生きがいづくりを支援します	① 趣味がもてるきっかけづくり		サービス>取組	1-10	
		② 趣味が繋げるコミュニケーションづくり		サービス>取組	1-11	
		③ 興味でつながるコミュニケーションづくり		サービス>取組	1-12	
	7 地域の課題解決やそのための市民の取り組みへの展開を支援します。	i.地域の活動を支援します	① 地域づくりを後方支援する		サービス>仕組	2-22
		ii.地域との協働を推進します	① 地域事業を協働して運営する		サービス>仕組	2-23

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID
	8 行政に関わる人々への資料・情報の提供を積極的に行います。	i.行政関係者向けに社会動向に応じた情報を適確に提供します。	① 政策立案を支援する		サービス>取組	1-30
			② 新しい情報を発信する		サービス>仕組	2-17
			③ メディアに囚われないレファレンスサービス	再掲	サービス>仕組	2-9
			④ 社会の動きを見据えた資料収集		資源>資料	4-4
Ⅲ図書館は、市民文化の創造・発展に貢献します。	1 市民文化に寄与するあらゆる資料・情報の提供に努めます。	i.バランスの取れた収集・情報提供を行います。	① 調査研究を支援する		サービス>取組	1-3
			② 充実したリクエスト制度	再掲	サービス>仕組	2-6
			③ 他機関と緊密に連携する	再掲	サービス>仕組	2-28
			④ 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源>資料	4-8
	2 地域資料および地方行政資料・情報の収集と提供に力を尽くします。	i.地域特性に立脚した資料収集を行います	① 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源>資料	4-8
	3 市民文化とまちづくりに役立つ図書館をめざします。	i.市民の生活、活動の各シーンに即したサービスを提供します	① 地域資料収集、分析による地域の特性把握とその提供		サービス>取組	1-14
			② ライフステージに即した資料の提供		サービス>仕組	2-14
			③ 生活シーンに即した資料の提供		サービス>仕組	2-15
	4 市民の文化活動のための機会と場を提供します。	i.コミュニケーションの場づくり、きっかけ作りを行います	① 趣味がつなげるコミュニケーションづくり	再掲	サービス>取組	1-11
			② 興味でつながるコミュニケーションづくり	再掲	サービス>取組	1-12
			③ 本から生まれる活動を支援する		サービス>仕組	2-16
			④ 複合施設として整備する	再掲	施設	5-9
	5 多文化共生社会の視点に立つ図書館活動を進めます。	i.多言語資料の収集、多言語のレファレンスを進めます	① 多言語に対応したレファレンス		サービス>仕組	2-11
			② 多言語対応できる職員を採用・育成する		サービス>職員	3-13
			③ 多言語資料の収集		資源>資料	4-6
			④ 他言語資料の日本語での提供		資源>資料	4-9
	6 図書館から新しい地域情報の発信に努めます。	i.地域に関する情報の系統だった収集と効率的な発信を行います	① 地域資料収集、分析による地域の特性把握とその提供	再掲	サービス>取組	1-14
			② 地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報とIT情報の一体化	再掲	サービス>仕組	2-19
			③ 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源>資料	4-8

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID
IV 図書館は、市民と共に考え、市民と共に歩みます。	1 図書館活動への市民参画・協働を推進します。	i. 図書館運営の地域協働化を進めます	① 支援団体、支援者との連携強化		サービス>取組	1-22
			② 地域文庫と連携する		サービス>取組	1-20
			③ 支援団体とのネットワークづくり		サービス>仕組	2-24
			④ 地域法人との運営連携		サービス>仕組	2-29
			⑤ 地域が図書館活動に参加できる仕組づくり		サービス>仕組	2-21
	2 図書館協議会の答申や運営への意見を重視し、図書館づくりのために協働します。	i. 図書館協議会の自立性を担保します	① 図書館協議会運営の自立を確保		サービス>仕組	2-36
	3 図書館活動を市民のなかへ積極的にPRします。	i. ソーシャルネットワークへの発信など、発信力を強化します	① SNSなどの新たなネットワークを形成する		サービス>仕組	2-30
			② 既存メディアの積極活用		サービス>仕組	2-31
	4 日常的に利用者との対話を重視し、利用者の声を活動に反映します。	i. 利用者の要望、苦情を常に把握、分析し業務に活かします	① 利用者の声を聞く		サービス>仕組	2-32
			② 利用者の声を蓄積する		サービス>仕組	2-43
			③ 市民の声を聞く		サービス>仕組	2-33
	5 図書館活動に関わるボランティアを支援します。	i. 支援団体との連携、ネットワークづくりを強化します	① ボランティアサービスの質を上げる		サービス>取組	1-16
			② ボランティアサービスの幅を拡げる		サービス>取組	1-17
			③ SNSなどのロコミネットワークを形成する	再掲	サービス>仕組	2-30
			④ ボランティア団体とのネットワーク化		サービス>仕組	2-44
	V 図書館は、職員専門的能力と資質の向上に努めます。	1 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成に努めます。	i. 司書資格保有率を高めます	① 司書を積極的に採用する		サービス>仕組
② 専門員養成プログラム					サービス>仕組	2-37
ii. 専門性向上に努めます			① 専門員養成プログラム	再掲	サービス>仕組	2-37
iii. 地域人を養成します		① 地域人養成プログラム		サービス>仕組	2-38	
2 図書館員は、その専門的な技術と能力を積極的に市民に提供します。		i. すべてのサービスで専門性を発揮します	① 資料解説、読解支援		サービス>仕組	2-12
	② 資料相談に適確に答える知識を持つ			サービス>職員	3-6	
	③ レファレンス精度を向上する		再掲	サービス>職員	3-7	
	④ 読み聞かせ能力を高める			サービス>職員	3-8	
	⑤ 専門職、専任職を置く			サービス>職員	3-14	

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID		
	3 「図書館員の倫理綱領」に則って行動します	i .図書館員の社会的責任を明らかにして行動します。	① 図書館の社会的責任を明らかにする		サービス>取組	1-25		
			② 倫理綱領の実効性を担保する		サービス>仕組	2-40		
			③ 倫理綱領にしたがって行動する		サービス>職員	3-12		
	4 館長は職員の資質向上に資する研修等を行うとともに、職員が専門性を発揮できる環境を整備します。	i .良好な利用環境、執務環境を確保します	① 良好な利用環境、執務環境を確保する			サービス>取組	1-26	
				ii .優れた人材を育成します	① 専門性を有する地域人材として育成する		サービス>仕組	2-39
					② 職員間で知識、情報を共有する		サービス>仕組	2-46
				iii .効率的で実効性のある組織経営を行います	① 効率的で実効性のある組織に改革する		サービス>取組	1-27
		iv .実効性があり安定した事業経営を行います	① 安定した事業経営を行う		サービス>取組	1-28		
			② 事業スケールに応じた効率的で実効性のある事業経営を行う		サービス>取組	1-31		

### 3. 施策の表記

図書館施策の表記例を以下に示します。

#### ＜図書館施策表記例＞

運営理念 I. **図書館は、市民の知る自由を保障し、学ぶ機会を提供します。**

運営理念を示します。

運営目標 I-1. **市民のニーズや時代に適応した図書館運営をめざします。**

上位の運営理念ごとに運営目標を示します。

施策目標 I-1-i. **利用しやすい図書館にします。**

施策目標を実現する具体的な施策を示します。

運営目標ごとに施策目標を示します。

施策の内容を表示します。

指標の名称を表示します。

施策	I-1-i-① <b>セルフサービスによる貸出返却、予約受取</b>		
施策内容	資料の貸出を対面による人的サービスに加え、セルフサービスも実施します		
達成指標	指標名	予約受取セルフサービス化状況	指標が達成された状態(目標)を表示しています。
	達成状態	実施	
分類	施策分類	サービス>仕組	施策ID 2-1

施策の達成状況を測る指標および目指す状態を示します。

施策分類ごとに一連番号を付番しています。

指標は、サービス(取組, 仕組, 職員)と資源(資料, 施設, 空間)の観点から設定します。

## 4. 図書館施策

図書館施策及びその施策内容、施策達成目標等を以下に示します。

### 運営理念Ⅰ. 図書館は、市民の知る自由を保障し、学ぶ機会を提供します

#### 運営目標Ⅰ-1. 市民のニーズや時代に適応した図書館運営をめざします

##### 施策目標Ⅰ-1-i. 利用しやすい図書館にします

施策	<b>Ⅰ-1-i-① セルフサービスによる貸出返却、予約受取</b>			
施策内容	資料の貸出を対面による人的サービスに加え、セルフサービスも実施します。			
達成指標	指標名	貸出返却、予約受取セルフサービス化状況		
	達成状態	実施		
分類	施策分類	サービス>仕組	施策ID	2-1
施策	<b>Ⅰ-1-i-② プライバシーに配慮した職員対応</b>			
施策内容	危機管理プログラムの一環として、情報管理、プライバシー保護を教育します。			
達成指標	指標名	プライバシーに関する苦情件数		
	達成状態	0件/年		
分類	施策分類	サービス>職員	施策ID	3-1
施策	<b>Ⅰ-1-i-③ 相談しやすい雰囲気づくり</b>			
施策内容	常に明るく、傾聴の姿勢で対応できる職員を養成します。			
達成指標	指標名	利用者満足度		
	達成状態	80%以上		
分類	施策分類	サービス>職員	施策ID	3-2
施策	<b>Ⅰ-1-i-④ 開放感のある明るい施設</b>			
施策内容	資料を選び、読みやすいように明るく、見通しのよい空間を作ります。			
達成指標	指標名	利用者満足度		
	達成状態	80%以上		
分類	施策分類	資源>施設	施策ID	5-1
施策	<b>Ⅰ-1-i-⑤ ユニバーサルな施設、設備</b>			
施策内容	ユニバーサルデザインを意識した施設、設備にします。			
達成指標	指標名	バリアに関する苦情件数		
	達成状態	0件		
分類	施策分類	資源>施設	施策ID	5-2
施策	<b>Ⅰ-1-i-⑥ いつでも予約受取、返却できる施設の整備</b>			
施策内容	図書館閉館時でも予約資料の受取りができ、資料の返却ができる施設や設備を整えます。			
達成指標	指標名	施設数		
	達成状態	3施設		
分類	施策分類	資源>施設	施策ID	5-12
施策	<b>Ⅰ-1-i-⑦ 見つけやすい、調べやすい配置</b>			
施策内容	書架配置、案内表示を工夫し、資料を見つけやすく、調べやすくします。			
達成指標	指標名	利用者満足度		
	達成状態	80%以上		
分類	施策分類	資源>空間	施策ID	6-8

施 策	<u>I-1-i-⑧ プライバシーに配慮した空間</u>			
施 策 内 容	ゆったりとした空間づくりにつとめます。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80% 以上		
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID	6-6
施 策	<u>I-1-i-⑨ 開放感のある空間</u>			
施 策 内 容	広がりを感じられる開放感のある書架空間にします。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80% 以上		
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID	6-1

### 施策目標 I-1-ii. 利用者のニーズに応える図書館にします

施 策	<u>I-1-ii-① 充実したリクエスト制度</u>			
施 策 内 容	リクエスト動向を見据えた資料収集を行い、リクエストに確実に応えます。			
達 成 指 標	指 標 名	リクエスト実現率		
	達 成 状 態	95% 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-6
施 策	<u>I-1-ii-② 知識豊富な職員の配置</u>			
施 策 内 容	各種機会を通じ、知識を涵養し、その知識を業務に活かします。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者の問いかけに答えられない事例の割合		
	達 成 状 態	5% 未満		
分 類	施 策 分 類	サービス>職員	施 策 ID	3-5
施 策	<u>I-1-ii-③ 求める資料が得られる</u>			
施 策 内 容	資料購入、他館借り入れなど様々な手段を講じてリクエストに応えます。			
達 成 指 標	指 標 名	リクエスト実現率		
	達 成 状 態	95% 以上		
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID	4-2
施 策	<u>I-1-ii-④ 豊富な資料を提供する</u>			
施 策 内 容	資料収集方針を明らかにするとともに、利用者のリクエストに応じていきます。			
達 成 指 標	指 標 名	リクエスト実現率		
	達 成 状 態	95% 以上		
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID	4-1

### 施策目標 I-1-iii. 時代に適応した図書館にします

施 策	<u>I-1-iii-① 地域の活動を支援する</u>			
施 策 内 容	地域の人々が地域の課題を解決する活動を資料、情報の面から支援します。			
達 成 指 標	指 標 名	地域の方からの相談数		
	達 成 状 態	10件/年 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-18

施 策	<b>I-1-iii-② 市民が参加できる</b>			
施 策 内 容	市民に対してサービスを提供するだけでなく、市民自身が参加し、貢献できる事業や機会を作ります。			
達 成 指 標	指 標 名	市民参加型事業数		
	達 成 状 態	1件/年 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-15
施 策	<b>I-1-iii-③ 電子図書館の開設</b>			
施 策 内 容	電子書籍普及の進展にあわせ、電子書籍貸出を進めます。			
達 成 指 標	指 標 名	電子図書館もしくは電子書籍貸出を実施		
	達 成 状 態	実施		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-4
施 策	<b>I-1-iii-④ 地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報とIT情報の一体化</b>			
施 策 内 容	既存地域資料のデジタル化を進め、より活用しやすい状況を作ります。			
達 成 指 標	指 標 名	コンテンツのデジタル化率		
	達 成 状 態	10%増加/年 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-19

## 運営目標 I-2. 生涯学習の拠点として、生活と学習に役立つ資料・情報を収集します

### 施策目標 I-2-i. 社会動向、地域特性に立脚した資料収集をすすめます

施 策	<b>I-2-i-① 他図書館との緊密な資料連携</b>			
施 策 内 容	他自治体図書館、特に都26市、23区の公立図書館と連携して資料の共同保存、活用の仕組づくりを進めます。			
達 成 指 標	指 標 名	共同書庫の設置		
	達 成 状 態	設置		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-27
施 策	<b>I-2-i-② バランスの取れた資料収集と保存</b>			
施 策 内 容	資料収集に当たり社会の動き、地域の状況、利用動向を踏まえた資料収集を行います。			
達 成 指 標	指 標 名	資料に対する利用者満足度		
	達 成 状 態	80% 以上		
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID	4-3
施 策	<b>I-2-i-③ 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信</b>			
施 策 内 容	市内各地域、町田、多摩、武蔵・相模、東京などの歴史、地理、文化、生活情報を積極収集します。			
達 成 指 標	指 標 名	地域資料充実度		
	達 成 状 態	地域資料増加冊数1,000冊/年 以上		
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID	4-8

## 運営目標 I-3. 市民がいつでも、どこでも、だれでも、等しくサービスを受けられる体制を築きます

### 施策目標 I-3-i. いつでも利用できる図書館にします

施 策	<b>I-3-i-① 電子図書館の開設</b>			(再掲)
施 策 内 容	電子書籍普及の進展にあわせ、電子書籍貸出を進めます。			
達 成 指 標	指 標 名	電子図書館もしくは電子書籍貸出を実施		
	達 成 状 態	実施		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-4
施 策	<b>I-3-i-② ニーズに配慮した開館日、開館時間</b>			
施 策 内 容	コストバランスを常に意識しながら、開館日、開館時間の拡大に取り組みます。			
達 成 指 標	指 標 名	拡大時間の割合		
	達 成 状 態	20% 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-20
施 策	<b>I-3-i-③ 開館日、開館時間に配慮した職員の配置</b>			
施 策 内 容	コストバランスを意識し、効率的な職員配置を行います。			
達 成 指 標	指 標 名	必要職員の適正配置		
	達 成 状 態	配置		
分 類	施 策 分 類	サービス>職員	施 策 ID	3-10

### 施策目標 I-3-ii. どこでも利用できる図書館にします

施 策	<b>I-3-ii-① 本を自宅まで届ける</b>			
施 策 内 容	様々な障がいから、図書館に訪れることができない方への、本の宅配を進めます。			
達 成 指 標	指 標 名	宅配実現率		
	達 成 状 態	100%		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-8
施 策	<b>I-3-ii-② 地域文庫との連携強化</b>			
施 策 内 容	地域文庫とのより一層の情報共有により業務連携を強化します。			
達 成 指 標	指 標 名	連携文庫数		
	達 成 状 態	3文庫以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-25
施 策	<b>I-3-ii-③ 地域館を整備する</b>			
施 策 内 容	図書館設置空白地域に地域館を整備します。			
達 成 指 標	指 標 名	図書館当り人口		
	達 成 状 態	5万人/館		
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID	5-7
施 策	<b>I-3-ii-④ 資料受渡所を設置する</b>			
施 策 内 容	利用者の利便性を向上するため、近くに図書館のない地域へ予約資料の受渡を行う受渡所を整備します。			
達 成 指 標	指 標 名	サービス空白地域数		
	達 成 状 態	0件		
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID	5-10
施 策	<b>I-3-ii-⑤ 移動図書館車サービス</b>			
施 策 内 容	肌理(きめ) 細やかな地域サービスを実現するため、移動図書館車サービスを継続します。			
達 成 指 標	指 標 名	サービス空白地域数		
	達 成 状 態	0件		
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID	5-11

### 施策目標 I-3-iii. 誰でも利用できる図書館にします

施 策	<b>I-3-iii-① 朗読、録音、点字翻訳をする</b>		
施 策 内 容	視覚障がい者が資料に親しめるよう、音や点字のライブラリーを増やします。		
達 成 指 標	指 標 名	ライブラリー数	
	達 成 状 態	100件/年 以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-13
施 策	<b>I-3-iii-② 相互利用市の市民も同等に利用できる環境づくり</b>		
施 策 内 容	隣接市との相互利用を進めます。また、相互利用市市民も予約ができるよう環境整備を進めます。		
達 成 指 標	指 標 名	相互利用市利用者の予約を可能に	
	達 成 状 態	実施	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-7

### 運営目標 I-4. 「図書館の自由に関する宣言」を支持し、遵守します。

#### 施策目標 I-4-i. 「図書館の自由に関する宣言」の理解を深め、広めます

施 策	<b>I-4-i-① 「図書館の自由」を広く周知する</b>		
施 策 内 容	国民の基本的人権のひとつである知る自由を確保するため、「図書館の自由」に関して、広く市民に知ってもらう取り組みを進めます。		
達 成 指 標	指 標 名	「図書館の自由」を知っている利用者の割合	
	達 成 状 態	50%以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-23
施 策	<b>I-4-i-② 時代の状況を見据えた対応</b>		
施 策 内 容	ICT 技術の進展やそれを取り巻く法制度を収集し、市民の人権を守る行動をします。		
達 成 指 標	指 標 名	事例研究頻度 周知回数	
	達 成 状 態	6 件以上/年 4 回以上/年	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-18
施 策	<b>I-4-i-③ 図書館の自由検討事例を収集、蓄積する</b>		
施 策 内 容	「町田市図書館の自由委員会」において、常に、図書館の自由検討事例を収集、分析、蓄積し、その結果を発信するとともに、事態に即応できる状況を作ります。		
達 成 指 標	指 標 名	検討回数	
	達 成 状 態	12回/年 検討結果に伴う対応実績公表	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-41
施 策	<b>I-4-i-④ 公正な議論の場を設ける</b>		
施 策 内 容	利用者や市民の意見を直接お聞きするため、図書館運営に関する意見交換、議論の場を定期的に設けます。		
達 成 指 標	指 標 名	図書館利用者懇談会の開催と結果公表	
	達 成 状 態	複数回開催/年、結果公表	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-35
施 策	<b>I-4-i-⑤ 「図書館の自由宣言」の理解を深める</b>		
施 策 内 容	多くの事例を通じて、早期に理解を深めます。		
達 成 指 標	指 標 名	事例検討結果を使用した研修の実施	
	達 成 状 態	実施	
分 類	施 策 分 類	サービス>職員	施 策 ID 3-11

## 運営目標 I-5. 図書館利用が困難な人々へのサービスを展開します

### 施策目標 I-5-i. 視覚障がい者向けサービスを提供します

施策	<b>I-5-i-① 朗読、録音、点字翻訳をする</b> (再掲)		
施策内容	視覚障がい者が資料に親しめるよう、音や点字のライブラリーを増やします。		
達成指標	指標名	ライブラリー数	
	達成状態	100件以上/年	
分類	施策分類	サービス>取組	施策ID 1-13
施策	<b>I-5-i-② ボランティアとの連携を強める</b>		
施策内容	現在ボランティアサービスを行っている、視覚障がい者サービス、宅配サービスを引き続き安定して行うとともに、本に出会う機会の少ない他の障がい者向けサービスの拡充を行います。		
達成指標	指標名	障がい者別サービスの種類数 サービス利用者数	
	達成状態	5サービス以上 30人以上	
分類	施策分類	サービス>取組	施策ID 1-29
施策	<b>I-5-i-③ 本を自宅まで届ける</b> (再掲)		
施策内容	様々な障がいから、図書館に訪れることができない方への、本の宅配を進めます。		
達成指標	指標名	宅配実現率	
	達成状態	100%	
分類	施策分類	サービス>仕組	施策ID 2-8
施策	<b>I-5-i-④ 他機関と緊密に連携する</b>		
施策内容	公文書館等有用な資料を持つ図書館以外の様々な機関との連携関係を構築します。		
達成指標	指標名	連携機関数	
	達成状態	5機関以上	
分類	施策分類	サービス>仕組	施策ID 2-28

### 施策目標 I-5-ii. 移動困難者向けサービスを提供します

施策	<b>I-5-ii-① ボランティアとの連携を強める</b> (再掲)		
施策内容	現在ボランティアサービスを行っている、視覚障がい者サービス、宅配サービスを引き続き安定して行うとともに、本に出会う機会の少ない他の障がい者向けサービスの拡充を行います。		
達成指標	指標名	障がい者別サービスの種類数 サービス利用者数	
	達成状態	5サービス以上 30人以上	
分類	施策分類	サービス>取組	施策ID 1-29
施策	<b>I-5-ii-② 本を自宅まで届ける</b> (再掲)		
施策内容	様々な障がいから、図書館に訪れることができない方への、本の宅配を進めます。		
達成指標	指標名	宅配実現率	
	達成状態	100%	
分類	施策分類	サービス>仕組	施策ID 2-8
施策	<b>I-5-ii-③ 移動図書館車サービス</b> (再掲)		
施策内容	肌理(きめ) 細やかな地域サービスを実現するため、移動図書館車サービスを継続します。		
達成指標	指標名	サービス空白地域数	
	達成状態	0件	
分類	施策分類	資源>施設	施策ID 5-11

施策目標 I-5-iii. 精神、知的障がい者の利用環境を整えます

施 策	<b>I-5-iii-① ボランティアとの連携を強める</b> (再掲)		
施 策 内 容	現在ボランティアサービスを行っている、視覚障がい者サービス、宅配サービスを引き続き安定して行うとともに、本に出会う機会の少ない他の障がい者向けサービスの拡充を行います。		
達 成 指 標	指 標 名	障がい者別サービスの種類数 サービス利用者数	
	達 成 状 態	5 サービス以上 30人以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-29
施 策	<b>I-5-iii-② 法人、障がい者団体の本を活用した活動を後方支援する</b>		
施 策 内 容	本に触れる機会の少ない、精神、知的障がい者がもっと本に触れられるよう、障がい者団体、社会福祉法人の活動を後方支援します。		
達 成 指 標	指 標 名	実施数	
	達 成 状 態	2団体以上との連携	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-42

運営目標 I-6. 情報通信技術 (ICT) を積極的に活用し、インターネットやデータベースを提供します。

施策目標 I-6-i. メディアに囚われないサービスを提供します

施 策	<b>I-6-i-① メディアに囚われないレファレンスサービス</b>		
施 策 内 容	レファレンス利用に際し、デジタル資料など様々な資料へアクセスできる環境を逐次整え、サービスを提供します。		
達 成 指 標	指 標 名	レファレンス依頼時デジタル資料不足による提供不能数	
	達 成 状 態	0件	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-9
施 策	<b>I-6-i-② メディアに囚われない収集</b>		
施 策 内 容	書籍などの紙媒体以外に、レファレンス用を主体に電子媒体での情報収集を充実します。		
達 成 指 標	指 標 名	電子媒体の資料数	
	達 成 状 態	100タイトル以上	
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID 4-7
施 策	<b>I-6-i-③ インターネット接続サービス</b>		
施 策 内 容	図書館内でインターネットに接続できるようにします。		
達 成 指 標	指 標 名	施設数	
	達 成 状 態	8館	
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID 5-13
施 策	<b>I-6-i-④ インターネット検索機器を配置</b>		
施 策 内 容	インターネット検索機器を順次整備します。		
達 成 指 標	指 標 名	施設数	
	達 成 状 態	3館 (中央、鶴川駅前、忠生)	
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID 5-14

施策目標 I-6-ii. 複合した資料を適切に提供します

施 策	<b>I-6-ii-① 資料本体と付録の的確管理</b>		
施 策 内 容	資料本体と付録単独での記録管理とセットでのチェックが行えるようにします。		
達 成 指 標	指 標 名	資料本体と付録の連携管理を可能に	
	達 成 状 態	実施	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-2
施 策	<b>I-6-ii-② シリーズ本の希望順提供</b>		
施 策 内 容	シリーズの資料を希望する順番で提供できるシステムを確立します。		
達 成 指 標	指 標 名	希望順予約、提供を可能に	
	達 成 状 態	実施	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-3

## 運営理念Ⅱ. 図書館は、人々が出会う場を提供し、地域の発展を支援します

### 運営目標Ⅱ-1. 市民に親しまれる図書館をめざします

#### 施策目標Ⅱ-1-i. 訪れやすい図書館にします

施 策	<u>Ⅱ-1-i-① ニーズに配慮した開館日、開館時間</u> (再掲)		
施 策 内 容	コストバランスを常に意識しながら、開館日、開館時間の拡大に取り組みます。		
達 成 指 標	指 標 名	開館時間数	
	達 成 状 態	20%以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-20
施 策	<u>Ⅱ-1-i-② 交通利便性の高い立地</u>		
施 策 内 容	施設の新設検討時には交通利便性を考慮します。		
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度	
	達 成 状 態	80%以上	
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID 5-8
施 策	<u>Ⅱ-1-i-③ 居心地のよい空間</u>		
施 策 内 容	落ち着いて読書ができる空間づくりにつとめます。		
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度	
	達 成 状 態	80%以上	
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID 6-4

#### 施策目標Ⅱ-1-ii. 使いやすい図書館にします

施 策	<u>Ⅱ-1-ii-① ニーズに配慮した開館日、開館時間</u> (再掲)		
施 策 内 容	コストバランスを常に意識しながら、開館日、開館時間の拡大に取り組みます。		
達 成 指 標	指 標 名	開館時間数	
	達 成 状 態	20%以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-20
施 策	<u>Ⅱ-1-ii-② 適度な利用者サポート</u>		
施 策 内 容	利用者の動きに目を配り、求められるときに迅速かつ優しくサポートできる職員を養成します。		
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度	
	達 成 状 態	80%以上	
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID 3-4
施 策	<u>Ⅱ-1-ii-③ 求める資料が得られる</u>		
施 策 内 容	資料購入、他館借り入れなど様々な手段を講じてリクエストに応えます。		
達 成 指 標	指 標 名	リクエスト実現率	
	達 成 状 態	95%以上	
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID 4-2
施 策	<u>Ⅱ-1-ii-④ ユニバーサルな施設、設備</u> (再掲)		
施 策 内 容	ユニバーサルデザインを意識した施設、設備にします。		
達 成 指 標	指 標 名	バリアに関する苦情件数	
	達 成 状 態	0件	
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID 5-2

施 策	<b>Ⅱ-1-ii-⑤ わかりやすい書架配置</b>			
施 策 内 容	利用者が直感的に探しやすい書架配置を目指します。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID	6-9

### 施策目標Ⅱ-1-iii. ころろ安らぐ図書館にします

施 策	<b>Ⅱ-1-iii-① 明るく、優しい対応</b>			
施 策 内 容	常に明るく、利用者目線で対応できる職員を養成します。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>職員	施 策 ID	3-3
施 策	<b>Ⅱ-1-iii-② ゆったりとした空間</b>			
施 策 内 容	ゆったりと過ごせる空間づくりにつとめます。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID	6-3

### 施策目標Ⅱ-1-iv. 楽しい図書館にします

施 策	<b>Ⅱ-1-iv-① 子どもが楽しめる事業を実施する</b>			
施 策 内 容	子どもが楽しみながら資料に親しんでいける機会を作ります。			
達 成 指 標	指 標 名	事業実施回数		
	達 成 状 態	12回/年館		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-6
施 策	<b>Ⅱ-1-iv-② 高齢者が楽しめる事業を実施する</b>			
施 策 内 容	映画会の開催など、高齢者が一人で図書館を訪れても楽しめる事業を実施します。			
達 成 指 標	指 標 名	事業参加者数		
	達 成 状 態	5,000人以上/年		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-9
施 策	<b>Ⅱ-1-iv-③ 季節感のある設え</b>			
施 策 内 容	四季や節気を感じられ、季節の移ろいを意識できる空間づくりにつとめます。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID	6-5
施 策	<b>Ⅱ-1-iv-④ 明るい空間</b>			
施 策 内 容	自然光の調整、明るい内装色など、明るい空間づくりにつとめます。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID	6-2

運営目標Ⅱ-2. 図書館が市民にとって使いやすい施設となるように改善・整備します

施策目標Ⅱ-2-i. 安全で使いやすい図書館にします

施策	<b>Ⅱ-2-i-① 危機を管理する</b>			
施策内容	館内事故対応から、情報管理、新型インフルエンザ対策まで、あらゆる危機を想定したリスクマネジメントを進めます。			
達成指標	指標名	危機管理マニュアル改訂および保守、公表		
	達成状態	策定、公表		
分類	施策分類	サービス>仕組	施策ID	2-34
施策	<b>Ⅱ-2-i-② 危機管理能力を高める</b>			
施策内容	リスクマネジメントマニュアルの講習を定期的に行うとともに、シュミレーション訓練を徹底します。			
達成指標	指標名	職員の危機管理能力（講習実施回数）		
	達成状態	4回/年 リスク内容を変えて実施		
分類	施策分類	サービス>職員	施策ID	3-9
施策	<b>Ⅱ-2-i-③ ユニバーサルな施設、設備</b>			<b>(再掲)</b>
施策内容	ユニバーサルデザインを意識した施設、設備にします。			
達成指標	指標名	バリアに関する苦情件数		
	達成状態	0件		
分類	施策分類	資源>施設	施策ID	5-2
施策	<b>Ⅱ-2-i-④ 老朽化に対応し常に安全を保つ</b>			
施策内容	施設、設備の老朽化状況を点検し、常に安全な状態を確保します。			
達成指標	指標名	苦情件数		
	達成状態	0件		
分類	施策分類	資源>施設	施策ID	5-3
施策	<b>Ⅱ-2-i-⑤ ゆったりとした空間</b>			<b>(再掲)</b>
施策内容	ゆったりと過ごせる空間づくりにつとめます。			
達成指標	指標名	利用者満足度		
	達成状態	80%以上		
分類	施策分類	資源>空間	施策ID	6-3

運営目標Ⅱ-3. 図書館は、市民の安息・安心の場を提供します

施策目標Ⅱ-3-i. ゆったりとくつろげる図書館にします

施策	<b>Ⅱ-3-i-① 複合施設として整備する</b>			
施策内容	施設の新設の際は、単独施設ではなく、地域に寄与できる施設として、コミュニティ施設機能、青少年施設機能などとの複合施設として整備します。			
達成指標	指標名	利用者満足度		
	達成状態	80%以上		
分類	施策分類	資源>施設	施策ID	5-9
施策	<b>Ⅱ-3-i-② 居心地のよい空間</b>			<b>(再掲)</b>
施策内容	落ち着いて読書ができる空間づくりにつとめます。			
達成指標	指標名	利用者満足度		
	達成状態	80%以上		
分類	施策分類	資源>空間	施策ID	6-4

施 策	<b>Ⅱ-3-i-③ ゆったりとした空間</b>			(再掲)
施 策 内 容	ゆったりと過ごせる空間づくりにつとめます。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID	6-3
施 策	<b>Ⅱ-3-i-④ 干渉されない空間</b>			
施 策 内 容	利用者相互の距離を考慮した空間づくりを行います。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>空間	施 策 ID	6-7

## 運営目標Ⅱ-4. 子どもたちが豊かな心と生きる力を育むことができるような活動を実施します

### 施策目標Ⅱ-4-i. 子どもが本に親しめる図書館にします

施 策	<b>Ⅱ-4-i-① 子どもが楽しめるサービスを実施する</b>			
施 策 内 容	子どもが図書館に来たくなるサービスを実施します。			
達 成 指 標	指 標 名	サービス利用者数		
	達 成 状 態	8,000人/年 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-7
施 策	<b>Ⅱ-4-i-② 読みたい本がある</b>			
施 策 内 容	利用者が読みたいと思う資料が蔵書にある、もしくは、他の図書館から借りられるようにします。			
達 成 指 標	指 標 名	リクエスト実現率		
	達 成 状 態	95%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-1
施 策	<b>Ⅱ-4-i-③ 子ども向け資料の充実</b>			
施 策 内 容	絵本をはじめとして、子どもが手に取りたくなる本を収集します。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID	4-5
施 策	<b>Ⅱ-4-i-④ 本を見つけやすい書架</b>			
施 策 内 容	図書分類や図書館独自の配架ルールを利用者が体得できる表示や機会を多く設けます。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID	5-6
施 策	<b>Ⅱ-4-i-⑤ 会話ができる空間</b>			
施 策 内 容	少しうるさくても、親子が会話でき楽しめる空間づくりを行います。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID	6-10

## 施策目標Ⅱ-4-ii. 親子で本に親しめる図書館にします

施策	<b>Ⅱ-4-ii-① 親子向けサービスを実施する</b>		
施策内容	親子で図書館に来たくなるサービスを実施します。		
達成指標	指標名	親子参加数	
	達成状態	3,000人以上/年	
分類	施策分類	サービス>取組	施策ID 1-8
施策	<b>Ⅱ-4-ii-② 読みたい本がある (再掲)</b>		
施策内容	利用者が読みたいと思う資料が蔵書にある、もしくは、他の図書館から借りられるようにします。		
達成指標	指標名	リクエスト実現率	
	達成状態	95%以上	
分類	施策分類	サービス>取組	施策ID 1-1
施策	<b>Ⅱ-4-ii-③ 本を見つけやすい書架 (再掲)</b>		
施策内容	図書分類や図書館独自の配架ルールを利用者が体得できる表示や機会を多く設けます。		
達成指標	指標名	利用者満足度	
	達成状態	80%以上	
分類	施策分類	資源>施設	施策ID 5-6
施策	<b>Ⅱ-4-ii-④ 会話ができる空間 (再掲)</b>		
施策内容	少しうるさくても、親子が会話でき楽しめる空間づくりを行います。		
達成指標	指標名	利用者満足度	
	達成状態	80%以上	
分類	施策分類	資源>施設	施策ID 6-10

## 施策目標Ⅱ-4-iii. 子どもの読書習慣が身につく図書館にします

施策	<b>Ⅱ-4-iii-① お薦め本を紹介する</b>		
施策内容	幼児、児童、YA世代に向け、お薦めの資料を紹介する。		
達成指標	指標名	お薦め本回転率	
	達成状態	10回/年以上	
分類	施策分類	サービス>取組	施策ID 1-2
施策	<b>Ⅱ-4-iii-② 達成感が得られる読書活動支援</b>		
施策内容	興味が持続し、かつ、ステップアップできるよう、子ども向けお薦め本リストと解説サービスなどの読書支援を行います。		
達成指標	指標名	目標が達成できた子どもの割合	
	達成状態	30%以上	
分類	施策分類	サービス>仕組	施策ID 2-13
施策	<b>Ⅱ-4-iii-③ 相談しやすい雰囲気づくり (再掲)</b>		
施策内容	常に明るく、傾聴の姿勢で対応できる職員を養成します。		
達成指標	指標名	利用者満足度	
	達成状態	80%以上	
分類	施策分類	サービス>職員	施策ID 3-2

## 施策目標Ⅱ-4-iv. 成長に応じた知識の習得ができる図書館にします

施策	<b>Ⅱ-4-iv-① 自主学習を支援する</b>		
施策内容	学習に必要な情報、資料を提供します。		
達成指標	指標名	学習のためのレファレンス利用件数	
	達成状態	100件/年 以上	
分類	施策分類	サービス>取組	施策ID 1-4
施策	<b>Ⅱ-4-iv-② 自立学習型レファレンス</b>		
施策内容	学習に必要な情報、資料を提供します。		
達成指標	指標名	学習のためのレファレンス利用件数	
	達成状態	100件/年 以上	
分類	施策分類	サービス>仕組	施策ID 2-10
施策	<b>Ⅱ-4-iv-③ 相談しやすいカウンター</b>		
施策内容	利用者がゆったりとした気持ちで相談ができるよう心がけます。		
達成指標	指標名	利用者満足度	
	達成状態	80%以上	
分類	施策分類	サービス>仕組	施策ID 2-5
施策	<b>Ⅱ-4-iv-④ レファレンス精度を向上する</b>		
施策内容	利用者ニーズのヒアリング技術習得および検索、探索の観点の発想力強化のトレーニングプログラムを実施します。		
達成指標	指標名	レファレンスにおいて利用者のニーズに応えられなかった事例の割合	
	達成状態	10% 未満	
分類	施策分類	サービス>職員	施策ID 3-7
施策	<b>Ⅱ-4-iv-⑤ 成長に応じた知識習得のシナリオ化</b>		
施策内容	幼児から高校生まで、成長に応じ必要となる（お薦めの）知識を系統立てて提供します。		
達成指標	指標名	知識習得シナリオの作成	
	達成状態	作成	
分類	施策分類	資源>資料	施策ID 4-10
施策	<b>Ⅱ-4-iv-⑥ 学習できる空間</b>		
施策内容	誰もが集中して学習できる空間の確保を目指します。		
達成指標	指標名	学習空間面積（複合施設他機能施設を含む）	
	達成状態	50㎡以上/施設	
分類	施策分類	資源>資料	施策ID 6-11

## 運営目標Ⅱ-5. 家庭と学校や地域と連携して、子どもの読書活動を推進します

### 施策目標Ⅱ-5-i. 学校、地域と連携します

施策	<b>Ⅱ-5-i-① 学校事業を支援する</b>		
施策内容	学校およびPTA、保護者会が進める事業を、図書館の資料や人的資源を活用して支援します。		
達成指標	指標名	連携している学校数	
	達成状態	5校以上	
分類	施策分類	サービス>取組	施策ID 1-21

施 策	<b>Ⅱ-5-i-② 地域の団体と連携する</b>			
施 策 内 容	地域で活動する団体、地域課題解決に取り組む団体と資料、情報面で連携協力します。			
達 成 指 標	指 標 名	連携団体数		
	達 成 状 態	2団体/年 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-19
施 策	<b>Ⅱ-5-i-③ 学校図書館との連携強化</b>			
施 策 内 容	学校図書館の状況を共有するとともに、相互に協力できる環境を作ります。			
達 成 指 標	指 標 名	相互協力学校数		
	達 成 状 態	30校以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-26
施 策	<b>Ⅱ-5-i-④ 地域文庫との連携強化</b>			<b>(再掲)</b>
施 策 内 容	地域文庫とのより一層の情報共有により業務連携を強化します。			
達 成 指 標	指 標 名	連携文庫数		
	達 成 状 態	3文庫以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-25

## 施策目標Ⅱ-5-ii. 家族の読書活動を支援します

施 策	<b>Ⅱ-5-ii-① 親子向けサービスを実施する</b>			<b>(再掲)</b>
施 策 内 容	親子で図書館に来たくなるサービスを実施します。			
達 成 指 標	指 標 名	親子参加者数		
	達 成 状 態	3,000人以上/年		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-8
施 策	<b>Ⅱ-5-ii-② 読みたい本がある</b>			<b>(再掲)</b>
施 策 内 容	利用者が読みたいと思う資料が蔵書にある、もしくは、他の図書館から借りられるようにします。			
達 成 指 標	指 標 名	リクエスト実現率		
	達 成 状 態	95%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-1
施 策	<b>Ⅱ-5-ii-③ 会話ができる空間</b>			<b>(再掲)</b>
施 策 内 容	少しうるさくても、親子が会話でき楽しめる空間づくりを行います。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID	6-10

## 運営目標Ⅱ-6. 高齢者の生活に相応しい図書館活動を展開します

### 施策目標Ⅱ-6-i. 移動制約を受けない図書の利用を促進します

施 策	<b>Ⅱ-6-i-① 本を自宅まで届ける</b>			<b>(再掲)</b>
施 策 内 容	様々な障がいから、図書館に訪れることができない方への、本の宅配を進めます。			
達 成 指 標	指 標 名	宅配実現率		
	達 成 状 態	100%		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-8

施 策	<b>Ⅱ-6-i-② 移動図書館車サービス</b> (再掲)		
施 策 内 容	肌理(きめ) 細やかな地域サービスを実現するため、移動図書館車サービスを継続します。		
達 成 指 標	指 標 名	サービス空白地域数	
	達 成 状 態	0件	
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID 5-11

## 施策目標Ⅱ-6-ii. 居場所づくりを支援します

施 策	<b>Ⅱ-6-ii-① 定期的に催し物を開催する</b> (再掲)		
施 策 内 容	楽しみながら学習できる機会を提供します。		
達 成 指 標	指 標 名	参加率 (参加者数/定員)	
	達 成 状 態	80%以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-5
施 策	<b>Ⅱ-6-ii-② 複合施設として整備する</b> (再掲)		
施 策 内 容	施設の新設の際は、単独施設ではなく、地域に寄与できる施設として、コミュニティ施設機能、青少年施設機能などとの複合施設として整備します。		
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度	
	達 成 状 態	80%以上	
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID 5-9

## 施策目標Ⅱ-6-iii. 生きがいつくりを支援します

施 策	<b>Ⅱ-6-iii-① 趣味がもてるきっかけづくり</b>		
施 策 内 容	趣味づくりのきっかけとなる、各種テーマ展示や教養講座を実施します。		
達 成 指 標	指 標 名	事業参加者数	
	達 成 状 態	300人以上/年	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-10
施 策	<b>Ⅱ-6-iii-② 趣味がつなげるコミュニケーションづくり</b>		
施 策 内 容	同じ趣味を持つもの同士が出会える機会を作ります。		
達 成 指 標	指 標 名	事業参加者のうち話し相手が見つかった人の割合	
	達 成 状 態	5% 以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-11
施 策	<b>Ⅱ-6-iii-③ 興味でつながるコミュニケーションづくり</b>		
施 策 内 容	教養講座から発展し、共通のテーマ、分野でコミュニケーションができる機会を作ります。		
達 成 指 標	指 標 名	事業参加者のうち話し相手が見つかった人の割合	
	達 成 状 態	5% 以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-12

運営目標Ⅱ-7. 地域の課題解決やそのための市民の取り組みへの展開を支援します。

施策目標Ⅱ-7-i. 地域の活動を支援します

施 策	<b>Ⅱ-7-i-① 地域づくりを後方支援する</b>			
施 策 内 容	地域を活性化するためがんばっている団体に、テーマに即した資料や情報の提供で後方支援します。			
達 成 指 標	指 標 名	団体数		
	達 成 状 態	10 団体以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-22

施策目標Ⅱ-7-ii. 地域との協働を推進します

施 策	<b>Ⅱ-7-ii-① 地域事業を協働して運営する</b>			
施 策 内 容	司書の専門性を活かして地域に飛び込み、地域の課題解決に協働して取り組める環境を整えます。			
達 成 指 標	指 標 名	協働した取り組み数		
	達 成 状 態	3 件以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-23

運営目標Ⅱ-8. 行政に関わる人々への資料・情報の提供を積極的に行います。

施策目標Ⅱ-8-i. 行政関係者向けに社会動向に応じた情報を適確に提供します。

施 策	<b>Ⅱ-8-i-① 政策立案を支援する</b>			
施 策 内 容	社会動向の変化を収集、整理し、政策立案に資する情報を提供します。			
達 成 指 標	指 標 名	情報提供数		
	達 成 状 態	12 件以上/年		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-30

施 策	<b>Ⅱ-8-i-② 新しい情報を発信する</b>			
施 策 内 容	行政を取り巻く情報を収集整理し、発信します。			
達 成 指 標	指 標 名	発信数 活用数		
	達 成 状 態	12 回以上/年 60 件以上/年		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	2-17

施 策	<b>Ⅱ-8-i-③ メディアに囚われないレファレンスサービス (再掲)</b>			
施 策 内 容	レファレンス利用に際し、デジタル資料など様々な資料へアクセスできる環境を逐次整え、サービスを提供します。			
達 成 指 標	指 標 名	レファレンス依頼時デジタル資料不足による提供不能数		
	達 成 状 態	0 件		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-9

施 策	<b>Ⅱ-8-i-④ 社会の動きを見据えた資料収集</b>			
施 策 内 容	資料収集に当たり社会の動き、地域の状況、利用動向を踏まえた資料収集を行います。			
達 成 指 標	指 標 名	行政関係者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	4-4

運営理念Ⅲ. 図書館は、市民文化の創造・発展に貢献します。

運営目標Ⅲ-1. 市民文化に寄与するあらゆる資料・情報の提供に努めます。

施策目標Ⅲ-1-i. バランスの取れた収集・情報提供を行います。

施 策	<b>Ⅲ-1-i-① 調査研究を支援する</b>		
施 策 内 容	資料等調査依頼に対応します。		
達 成 指 標	指 標 名	レファレンス回答率	
	達 成 状 態	90%以上	
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID 1-3
施 策	<b>Ⅲ-1-i-② 充実したリクエスト制度 (再掲)</b>		
施 策 内 容	リクエスト動向を見据えた資料収集を行い、リクエストに確実に応えます。		
達 成 指 標	指 標 名	リクエスト実現率	
	達 成 状 態	95% 以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-6
施 策	<b>Ⅲ-1-i-③ 他機関と緊密に連携する (再掲)</b>		
施 策 内 容	公文書館等有用な資料を持つ図書館以外の様々な機関との連携関係を構築します。		
達 成 指 標	指 標 名	連携機関数	
	達 成 状 態	5機関以上	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-28
施 策	<b>Ⅲ-1-i-④ 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信 (再掲)</b>		
施 策 内 容	市内各地域、町田、多摩、武蔵・相模、東京などの歴史、地理、文化、生活情報を積極収集します。		
達 成 指 標	指 標 名	地域資料充実度	
	達 成 状 態	地域資料増加冊数1,000冊以上/年	
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID 4-8

運営目標Ⅲ-2. 地域資料および地方行政資料・情報の収集と提供に力を尽くします。

施策目標Ⅲ-2-i. 地域特性に立脚した資料収集を行います

施 策	<b>Ⅲ-2-i-① 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信 (再掲)</b>		
施 策 内 容	市内各地域、町田、多摩、武蔵・相模、東京などの歴史、地理、文化、生活情報を積極収集します。		
達 成 指 標	指 標 名	地域資料充実度	
	達 成 状 態	地域資料増加冊数1,000冊以上/年	
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID 4-8

運営目標Ⅲ-3. 市民文化とまちづくりに役立つ図書館をめざします。

施策目標Ⅲ-3-i. 市民の生活、活動の各シーンに即したサービスを提供します

施 策	<b>Ⅲ-3-i-① 地域資料収集、分析による地域の特性把握とその提供</b>			
施 策 内 容	地域で活動する市民・団体に提供するため、地域資料の収集、および資料分析を積極的に行い、地域の特性を把握します。			
達 成 指 標	指 標 名	サービスを提供した地域数		
	達 成 状 態	2地域以上/年		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-14
施 策	<b>Ⅲ-3-i-② ライフステージに即した資料の提供</b>			
施 策 内 容	ライフステージ毎に、資料、情報を提供します。			
達 成 指 標	指 標 名	提供資料利用割合		
	達 成 状 態	20倍以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	2-14
施 策	<b>Ⅲ-3-i-③ 生活シーンに即した資料の提供</b>			
施 策 内 容	日常生活の各シーン毎に、必要な資料、情報を提供します。			
達 成 指 標	指 標 名	設定シーン数 利用数		
	達 成 状 態	3シーン/年 50人/シーン		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-15

運営目標Ⅲ-4. 市民の文化活動のための機会と場を提供します。

施策目標Ⅲ-4-i. コミュニケーションの場づくり、きっかけ作りを行います

施 策	<b>Ⅲ-4-i-① 趣味がつなげるコミュニケーションづくり</b>			(再掲)
施 策 内 容	同じ趣味を持つもの同士が出会える機会を作ります。			
達 成 指 標	指 標 名	事業参加者のうち話し相手が見つかった人の割合		
	達 成 状 態	5% 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-11
施 策	<b>Ⅲ-4-i-② 興味でつながるコミュニケーションづくり</b>			(再掲)
施 策 内 容	教養講座から発展し、共通のテーマ、分野でコミュニケーションができる機会を作ります。			
達 成 指 標	指 標 名	事業参加者のうち話し相手が見つかった人の割合		
	達 成 状 態	5% 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-12
施 策	<b>Ⅲ-4-i-③ 本から生まれる活動を支援する</b>			
施 策 内 容	本や資料をきっかけとした人と人との輪づくりを行います。			
達 成 指 標	指 標 名	活動の場の数		
	達 成 状 態	3件以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-16
施 策	<b>Ⅲ-4-i-④ 複合施設として整備する</b>			(再掲)
施 策 内 容	施設の新設の際は、単独施設ではなく、地域に寄与できる施設として、コミュニティ施設機能、青少年施設機能などとの複合施設として整備します。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>施設	施 策 ID	5-9

運営目標Ⅲ-5. 多文化共生社会の視点に立つ図書館活動を進めます。

施策目標Ⅲ-5- i . 多言語資料の収集、多言語のレファレンスを進めます

施 策	<b>Ⅲ-5- i -① 多言語に対応したレファレンス</b>			
施 策 内 容	レファレンス申し込みに対し、日本語資料だけでなく、他の言語の資料も提供できる環境を整えていきます。			
達 成 指 標	指 標 名	他の言語によるレファレンス依頼対応不能数		
	達 成 状 態	0件		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-11
施 策	<b>Ⅲ-5- i -② 多言語対応できる職員を採用・育成する</b>			
施 策 内 容	多言語対応できる職員を積極的に採用します。			
達 成 指 標	指 標 名	他言語対応できる職員数		
	達 成 状 態	中央館に2人以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>職員	施 策 ID	3-13
施 策	<b>Ⅲ-5- i -③ 多言語資料の収集</b>			
施 策 内 容	外国語資料を収集します。			
達 成 指 標	指 標 名	他言語資料数の割合		
	達 成 状 態	0.5%以上		
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID	4-6
施 策	<b>Ⅲ-5- i -④ 他言語資料の日本語での提供</b>			
施 策 内 容	利用者の要望に応じ、ボランティアなどの協力を得て、外国語資料の日本語翻訳できる体制を整えます。			
達 成 指 標	指 標 名	体制整備		
	達 成 状 態	整備		
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID	4-9

運営目標Ⅲ-6. 図書館から新しい地域情報の発信に努めます。

施策目標Ⅲ-6- i . 地域に関する情報の系統だった収集と効率的な発信を行います

施 策	<b>Ⅲ-6- i -① 地域資料収集、分析による地域の特性把握とその提供 (再掲)</b>			
施 策 内 容	地域で活動する市民・団体に提供するため、地域資料の収集、および資料分析を積極的に行い、地域の特性を把握します。			
達 成 指 標	指 標 名	サービスを提供した地域数		
	達 成 状 態	2地域以上/年		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-14
施 策	<b>Ⅲ-6- i -② 地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報とIT情報の一体化 (再掲)</b>			
施 策 内 容	既存地域資料のデジタル化を進め、より活用しやすい状況を作ります。			
達 成 指 標	指 標 名	コンテンツのデジタル化率		
	達 成 状 態	10%増加/年 以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-19
施 策	<b>Ⅲ-6- i -③ 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信 (再掲)</b>			
施 策 内 容	市内各地域、町田、多摩、武蔵・相模、東京などの歴史、地理、文化、生活情報を積極収集します。			
達 成 指 標	指 標 名	地域資料充実度		
	達 成 状 態	地域資料増加冊数1,000冊以上/年		
分 類	施 策 分 類	資源>資料	施 策 ID	4-8

## 運営理念Ⅳ. 図書館は、市民と共に考え、市民と共に歩みます

### 運営目標Ⅳ-1. 図書館活動への市民参画・協働を推進します

#### 施策目標Ⅳ-1-i. 図書館運営の地域協働化を進めます

施 策	<b>Ⅳ-1-i-① 支援団体、支援者との連携強化</b>			
施 策 内 容	図書館活動を支援している団体や支援者との連携を一層密にします。			
達 成 指 標	指 標 名	連携している団体数		
	達 成 状 態	5団体以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-22
施 策	<b>Ⅳ-1-i-② 地域文庫と連携する</b>			
施 策 内 容	地域文庫の活動を地域に広め、担い手の確保、図書館事業との連携を進めます。			
達 成 指 標	指 標 名	連携している地域文庫数		
	達 成 状 態	3文庫以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-20
施 策	<b>Ⅳ-1-i-③ 支援団体とのネットワークづくり</b>			
施 策 内 容	地域で活動する各種支援団体と連携して図書館運営できる仕組みづくりを進めます。			
達 成 指 標	指 標 名	連携団体数		
	達 成 状 態	10団体以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-24
施 策	<b>Ⅳ-1-i-④ 地域法人との運営連携</b>			
施 策 内 容	地域で活動する公益法人と連携して図書館運営できる仕組みづくりを進めます。			
達 成 指 標	指 標 名	連携公益法人		
	達 成 状 態	存在する		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-29
施 策	<b>Ⅳ-1-i-⑤ 地域が図書館活動に参加できる仕組みづくり</b>			
施 策 内 容	幼児、児童向けおはなし会、ブックトークなどの図書館活動に多くの地域の人が参加できる場づくりを行います。			
達 成 指 標	指 標 名	市民が参加する活動の数		
	達 成 状 態	10箇所以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-21

### 運営目標Ⅳ-2. 図書館協議会の答申や運営への意見を重視し、図書館づくりのために協働します

#### 施策目標Ⅳ-2-i. 図書館協議会の自立性を担保します

施 策	<b>Ⅳ-2-i-① 図書館協議会運営の自立を確保</b>			
施 策 内 容	「図書館協議会」が第三者の立場から自立的に課題を設定、検討し、図書館に提言できる道筋を担保することで、運営の自立性を確保します。			
達 成 指 標	指 標 名	図書館への提言、意見公表		
	達 成 状 態	提言、意見		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-36

### 運営目標Ⅳ-3. 図書館活動を市民のなかへ積極的にPRします

#### 施策目標Ⅳ-3- i. ソーシャルネットワークへの発信など、発信力を強化します

施 策	<b>Ⅳ-3- i -① SNSなどの新たなネットワークを形成する</b>			
施 策 内 容	支援団体、法人、ボランティアとの交流を活発化するため、SNS を積極的に活用します。			
達 成 指 標	指 標 名	SNS 参加者数		
	達 成 状 態	20万人 (登録者数の約2倍)		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-30
施 策	<b>Ⅳ-3- i -② 既存メディアの積極活用</b>			
施 策 内 容	新聞、CATV、チラシ、広報などを通じ、新しいメディアに触れる機会のない方にも積極的に情報発信を続けます。			
達 成 指 標	指 標 名	発信回数		
	達 成 状 態	2回以上/月		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-31

### 運営目標Ⅳ-4. 日常的に利用者との対話を重視し、利用者の声を活動に反映します

#### 施策目標Ⅳ-4- i. 利用者の要望、苦情を常に把握、分析し業務に活かします

施 策	<b>Ⅳ-4- i -① 利用者の声を聞く</b>			
施 策 内 容	現在も行っている「利用者の声」をしっかりとデータ化するとともに、その結果を広く利用者に伝えます。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者の声統計公表 利用者の声ボード設置		
	達 成 状 態	公表 設置		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-32
施 策	<b>Ⅳ-4- i -② 利用者の声を蓄積する</b>			
施 策 内 容	利用者の声を蓄積、分類、公表することで、利用者の真のニーズを捉えます。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者の声統計公表		
	達 成 状 態	公表		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-43
施 策	<b>Ⅳ-4- i -③ 市民の声を聞く</b>			
施 策 内 容	市民モニターや郵送アンケート等を通じ定期的に市民のニーズを調査し、事業に活かします。			
達 成 指 標	指 標 名	市民モニター実施および結果公表		
	達 成 状 態	実施、公表		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-33

### 運営目標Ⅳ-5. 図書館活動に関わるボランティアを支援します

#### 施策目標Ⅳ-5- i. 支援団体との連携、ネットワークづくりを強化します

施 策	<b>Ⅳ-5- i -① ボランティアサービスの質を上げる</b>			
施 策 内 容	ボランティアの自主的な研鑽に依存することなく、継続してボランティアの養成、技能向上策を講じます。			
達 成 指 標	指 標 名	ボランティアサービスの満足度		
	達 成 状 態	50%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-16

施 策	<b>Ⅳ-5-i-② ボランティアサービスの幅を広げる</b>			
施 策 内 容	多くのボランティアが図書館運営に関われるよう、ボランティアサービスの幅を広げます。			
達 成 指 標	指 標 名	ボランティア参加事業数		
	達 成 状 態	5件以上/年		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-17
施 策	<b>Ⅳ-5-i-③ SNSなどの新たなネットワークを形成する (再掲)</b>			
施 策 内 容	支援団体、法人、ボランティアとの交流を活発化するため、SNS を積極的に活用します。			
達 成 指 標	指 標 名	SNS 参加者数		
	達 成 状 態	20万人 (登録者数の約2倍)		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-30
施 策	<b>Ⅳ-5-i-④ ボランティア団体とのネットワーク化</b>			
施 策 内 容	常に状況を共有し、連携するために、ボランティア団体との情報共有ネットワークを設置します。			
達 成 指 標	指 標 名	ボランティア団体とのネットワーク構築		
	達 成 状 態	ネットワーク設置		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-44

## 運営理念V. 図書館は、職員の専門的能力と資質の向上に努めます

### 運営目標V-1. 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成に努めます

#### 施策目標V-1-i. 司書資格保有率を高めます

施 策	<b>V-1-i-① 司書を積極的に採用する</b>			
施 策 内 容	適確なサービス、質の高いサービスを行えるよう司書資格保有者を採用します。			
達 成 指 標	指 標 名	職員の内司書資格を保有している者の割合		
	達 成 状 態	90%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-24
施 策	<b>V-1-i-② 専門員養成プログラム</b>			
施 策 内 容	職員の専門性を向上させるため、館内研修、講師養成を充実するとともに、必要に応じて、派遣研修を実施します。			
達 成 指 標	指 標 名	司書資格保有率		
	達 成 状 態	90%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-37

#### 施策目標V-1-ii. 専門性向上に努めます

施 策	<b>V-1-ii-① 専門員養成プログラム</b>			(再掲)
施 策 内 容	職員の専門性を向上させるため、館内研修、講師養成を充実するとともに、必要に応じて、派遣研修を実施します。			
達 成 指 標	指 標 名	司書資格保有率		
	達 成 状 態	90%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-37

#### 施策目標V-1-iii. 地域人を養成します

施 策	<b>V-1-iii-① 地域人養成プログラム</b>			
施 策 内 容	職員が図書館に閉じこもることなく地域で活動できるよう、地域団体、法人と連携して、地域人を養成します。			
達 成 指 標	指 標 名	実施回数		
	達 成 状 態	12回以上/年		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-38

### 運営目標V-2. 図書館員は、その専門的な技術と能力を積極的に市民に提供します

#### 施策目標V-2-i. すべてのサービスで専門性を発揮します

施 策	<b>V-2-i-① 資料解説、読解支援</b>			
施 策 内 容	職員各自がそれぞれ得意分野を持ち、資料の解説や読解の支援を行います。			
達 成 指 標	指 標 名	得意分野を持つ職員の割合		
	達 成 状 態	1/3以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-12

施 策	<b>V-2-i-② 資料相談に適確に答える知識を持つ</b>			
施 策 内 容	多くの職員の知識を蓄積し、それを通じて相互に知識を涵養します。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者の相談に答えられない事例の割合		
	達 成 状 態	10% 未満		
分 類	施 策 分 類	サービス>職員	施 策 ID	3-6
施 策	<b>V-2-i-③ レファレンス精度を向上する (再掲)</b>			
施 策 内 容	利用者ニーズのヒアリング技術習得および検索、探索の観点の発想力強化のトレーニングプログラムを実施します。			
達 成 指 標	指 標 名	レファレンスにおいて利用者のニーズに応えられなかった事例の割合		
	達 成 状 態	10% 未満		
分 類	施 策 分 類	サービス>職員	施 策 ID	3-7
施 策	<b>V-2-i-④ 読み聞かせ能力を高める</b>			
施 策 内 容	優れた語り手からの学習の機会を確保します。			
達 成 指 標	指 標 名	利用者評価満足度		
	達 成 状 態	80%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>職員	施 策 ID	3-8
施 策	<b>V-2-i-⑤ 専門職、専任職を置く</b>			
施 策 内 容	有資格職員を配置するとともに、人事異動に専任職としてその専門性を発揮できる職場（部総務等情報収集、調査、分析）間のローテーションを調整します。			
達 成 指 標	指 標 名	司書の専任職化		
	達 成 状 態	専任職化		
分 類	施 策 分 類	サービス>職員	施 策 ID	3-14

### 運営目標V-3. 「図書館員の倫理綱領」に則って行動します

#### 施策目標V-3-i. 図書館員の社会的責任を明らかにして行動します

施 策	<b>V-3-i-① 図書館の社会的責任を明らかにする</b>			
施 策 内 容	「図書館員の倫理綱領」に基づき、図書館員が具体的に負うべき責任を明らかにし、広く発信します。			
達 成 指 標	指 標 名	「図書館員の倫理綱領」を知っている利用者の割合		
	達 成 状 態	30%以上		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	1-25
施 策	<b>V-3-i-② 倫理綱領の実効性を担保する</b>			
施 策 内 容	「町田市図書館の自由委員会」において、倫理綱領に触れる事例を検討することで、理解を深めるとともに、常に当館の状況に目を配り、小さなことでも適確に対応できるようにします。			
達 成 指 標	指 標 名	検討回数 対応実績		
	達 成 状 態	12回/年 検討結果に伴う対応実績公表		
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID	2-40
施 策	<b>V-3-i-③ 倫理綱領にしたがって行動する</b>			
施 策 内 容	「図書館の自由委員会」の事例を活用したトレーニングを実施することで、より具体的に理解できるようにします。			
達 成 指 標	指 標 名	事例検討結果を使用した研修の実施		
	達 成 状 態	実施		
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID	3-12

運営目標V-4. 館長は職員の資質向上に資する研修等を行うとともに、職員が専門性を発揮できる環境を整備します。

施策目標V-4-i. 良好な利用環境、執務環境を確保します

施 策	<b>V-4-i-① 良好な利用環境、執務環境を確保する</b>		
施 策 内 容	事務所衛生基準規則およびビル管理法に基づく基準遵守を基礎とし、良好な執務環境を確保します。		
達 成 指 標	指 標 名	職員からの事務所環境への苦情件数	
	達 成 状 態	0件/年	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-26

施策目標V-4-ii. 優れた人材を育成します

施 策	<b>V-4-ii-① 専門性を有する地域人材として育成する</b>		
施 策 内 容	地域と連携することで、図書館員としてだけでなく、行政職員としての専門性を持つ人材として育成します。		
達 成 指 標	指 標 名	実施回数	
	達 成 状 態	12回以上/年	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-39

施 策	<b>V-4-ii-② 職員間で知識、情報を共有する</b>		
施 策 内 容	知の集積を実現するため、ナレッジデータベースを整備します。		
達 成 指 標	指 標 名	ナレッジシステムの確立	
	達 成 状 態	整備	
分 類	施 策 分 類	サービス>仕組	施 策 ID 2-46

施策目標V-4-iii. 効率的で実効性のある組織経営を行います

施 策	<b>V-4-iii-① 効率的で実効性のある組織に改革する</b>		
施 策 内 容	マネジメント目標を明らかにした組織経営を行います。		
達 成 指 標	指 標 名	職員1人当たり来館者数	
	達 成 状 態	11,000人以上/年	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-27

施策目標V-4-iv. 実効性があり安定した事業経営を行います

施 策	<b>V-4-iv-① 安定した事業経営を行う</b>		
施 策 内 容	コスト安定性がありかつ継続性のある人材確保策を講じます。		
達 成 指 標	指 標 名	職員採用実績 蔵書コスト経年比較	
	達 成 状 態	応募倍率2倍以上 蔵書コスト950円/冊以下	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-28

施 策	<b>V-4-iv-② 事業スケールに応じた効率的で実効性のある事業経営を行う</b>		
施 策 内 容	今後、新規施設の開館やサービスの拡充を進める際、常に既存サービスを見直し、より効率性の高い事業手法を選択します。		
達 成 指 標	指 標 名	事業、サービス拡大時の事業手法を改善	
	達 成 状 態	施設拡大時に事業手法改善	
分 類	施 策 分 類	サービス>取組	施 策 ID 1-31

## IV. 事業活動と施策



## IV. 事業活動と施策

### 1. 事業活動と施策の関係

前述した、運営理念及び目標、施策目標、施策で構成する施策体系は、運営理念を実現する具体的な方策の体系（目的体系）となっています。

一方で、事業は活動を主体とすることから、活動目的や活動自身の同一性、同質性、効率性の観点からまとまっています。

事業にとって上記施策は、その活動を行う上で運営理念を達成する直接的目標であり、達成すべき上位の意図でもあります。このことから、自らの活動目標に施策を加えた目標を、その事業が達成すべき目標として定め、事業活動を行うことが必要です。

本計画では中事業を核となる事業とし、大事業＞中事業の階層で著しています。

### 2. 事業、施策関連表

事業体系および施策との関連を以下に示します。

大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類	
I 資料閲覧貸出	I - 1.利用者情報管理	3-1 プライバシーに配慮した職員対応		サービス	職員
		3-2 相談しやすい雰囲気づくり		サービス	職員
		3-3 明るく、優しい対応		サービス	職員
	I - 2.書誌情報管理	3-14 専門職、専任職を置く		サービス	職員
	I - 3.選定	1-1 読みたい本がある		サービス	取組
		2-6 充実したリクエスト制度		サービス	仕組
		4-1 豊富な資料を提供する		資源	資料
		4-3 バランスの取れた資料収集と保存		資源	資料
		4-4 社会の動きを見据えた資料収集		資源	資料
		4-5 子ども向け資料の充実		資源	資料
		4-6 多言語資料の収集		資源	資料
	4-7 メディアに囚われない収集		資源	資料	
	I - 4.資料整理	1-2 お薦め本を紹介する		サービス	取組
	I - 5.配架	6-8 見つけやすい、調べやすい配置		資源	空間
		6-9 わかりやすい書架配置		資源	空間
	I - 6.蔵書点検	2-20 ニーズに配慮した開館日・開館時間		サービス	仕組
	I - 7.貸出・返却	2-1 セルフサービスによる貸出返却、予約受取		サービス	仕組
		2-2 資料本体と付録の的確管理		サービス	仕組
		2-3 シリーズ本の希望順提供		サービス	仕組
		2-27 他図書館との緊密な資料連携		サービス	仕組
		2-20 ニーズに配慮した開館日・開館時間	再掲	サービス	仕組
		3-1 プライバシーに配慮した職員対応	再掲	サービス	職員
		3-2 相談しやすい雰囲気づくり	再掲	サービス	職員
		3-3 明るく、優しい対応	再掲	サービス	職員
		3-4 適度な利用者サポート		サービス	職員
		4-1 豊富な資料を提供する	再掲	資源	資料
		4-2 求める資料が得られる		資源	資料
4-7 メディアに囚われない収集	再掲	資源	資料		
I - 8.移動図書館	5-11 移動図書館車サービス		資源	施設	
I - 9.予約資料貸出返却	5-12 利用しやすい図書館にします		サービス	仕組	
I - 10.保存・除籍	2-27 他図書館との緊密な資料連携		サービス	仕組	

大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類	
		3-14 専門職、専任職を置く	再掲	サービス 職員	
		4-3 バランスの取れた資料収集と保存	再掲	資源 資料	
	I - 1 1.読書相談	3-5 知識豊富な職員の配置		サービス 職員	
Ⅱ 利用 援助	Ⅱ - 1.レファレンス	1-3 調査研究を支援する		サービス 取組	
		1-4 自主学習を支援する		サービス 取組	
		1-14 地域資料収集、分析による地域の特性把握とその提供		サービス 取組	
		1-18 地域の活動を支援する		サービス 取組	
		1-30 政策立案を支援する		サービス 取組	
		2-9 メディアに囚われないレファレンスサービス		サービス 仕組	
		2-10 自立学習型レファレンス		サービス 仕組	
		2-11 多言語に対応したレファレンス		サービス 仕組	
		2-12 資料解説、読解支援		サービス 仕組	
		2-13 達成感が得られる読書活動支援		サービス 仕組	
		2-16 本から生まれる活動を支援する		サービス 仕組	
		2-17 新しい情報を発信する		サービス 仕組	
		3-1 プライバシーに配慮した職員対応	再掲	サービス 職員	
		3-2 相談しやすい雰囲気づくり	再掲	サービス 職員	
		3-3 明るく、優しい対応	再掲	サービス 職員	
		3-4 適度な利用者サポート	再掲	サービス 職員	
		3-5 知識豊富な職員の配置	再掲	サービス 職員	
		3-6 資料相談に適確に答える知識を持つ		サービス 職員	
		3-7 レファレンス精度を向上する		サービス 職員	
		3-13 多言語対応できる職員を採用・育成する		サービス 職員	
		3-14 専門職、専任職を置く	再掲	サービス 職員	
		4-4 社会の動きを見据えた資料収集	再掲	資源 資料	
		4-6 多言語資料の収集	再掲	資源 資料	
		4-7 メディアに囚われない収集	再掲	資源 資料	
		4-8 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信		資源 資料	
		4-9 他言語資料の日本語での提供		資源 資料	
		4-10 成長に応じた知識習得のシナリオ化		資源 資料	
		Ⅱ - 2.電子情報閲覧	5-13 インターネット接続サービス		資源 施設
			5-14 インターネット検索機器を配置		資源 施設
		Ⅱ - 3.障がい者サービス	1-13 朗読、録音、点字翻訳をする		サービス 取組
			2-8 本を自宅まで届ける		サービス 仕組
			2-42 法人、障がい者団体の本を活用した活動を後方支援する		サービス 仕組
			3-1 プライバシーに配慮した職員対応	再掲	サービス 職員
			3-2 相談しやすい雰囲気づくり	再掲	サービス 職員
			3-3 明るく、優しい対応	再掲	サービス 職員
		Ⅲ 利用 普及	Ⅲ - 1.一般向け普及	1-5 定期的に催し物を開催する	
1-9 高齢者が楽しめる事業を実施する				サービス 取組	
1-10 趣味がもてるきっかけづくり				サービス 取組	
1-11 趣味がつなげるコミュニケーションづくり				サービス 取組	

大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類		
		1-12 興味でつながるコミュニケーションづくり		サービス	取組	
		1-19 地域の団体と連携する		サービス	取組	
		4-10 成長に応じた知識習得のシナリオ化	再掲	資源	資料	
	Ⅲ - 2.子ども向け普及	1-5 定期的に催し物を開催する	再掲	サービス	取組	
		1-6 子どもが楽しめる事業を実施する		サービス	取組	
		1-7 子どもが楽しめるサービスを実施する		サービス	取組	
		1-8 親子向けサービスを実施する		サービス	取組	
		1-16 ボランティアサービスの質を上げる		サービス	取組	
		1-17 ボランティアサービスの幅を拡げる		サービス	取組	
		1-19 地域の団体と連携する	再掲	サービス	取組	
		1-20 地域文庫と連携する		サービス	取組	
		1-21 学校事業を支援する		サービス	取組	
		2-24 支援団体とのネットワークづくり		サービス	仕組	
		2-26 学校図書館との連携強化		サービス	仕組	
		3-8 読み聞かせ能力を高める		サービス	職員	
	4-5 子ども向け資料の充実	再掲	資源	資料		
	Ⅲ - 3.YA 向け普及	2-26 学校図書館との連携強化	再掲	サービス	仕組	
		4-10 成長に応じた知識習得のシナリオ化	再掲	資源	資料	
	Ⅲ - 4.障がい者向け普及	1-16 ボランティアサービスの質を上げる	再掲	サービス	取組	
		1-17 ボランティアサービスの幅を広げる	再掲	サービス	取組	
		2-24 支援団体とのネットワークづくり	再掲	サービス	仕組	
	Ⅲ - 5.連携協力	2-27 他図書館との緊密な資料連携	再掲	サービス	仕組	
		2-28 他機関と緊密に連携する	再掲	サービス	仕組	
Ⅳ 地域支援	Ⅳ - 1.地域支援	1-18 地域の活動を支援する		サービス	取組	
		2-14 ライフステージに即した資料の提供		サービス	仕組	
		2-15 生活シーンに即した資料の提供		サービス	仕組	
		2-21 地域が図書館活動に参加できる仕組づくり		サービス	仕組	
		2-22 地域づくりを後方支援する		サービス	仕組	
		2-24 支援団体とのネットワークづくり	再掲	サービス	仕組	
	4-8 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源	資料		
	Ⅳ - 2.地域協働	1-19 地域の団体と連携する	再掲	サービス	取組	
		1-20 地域文庫と連携する	再掲	サービス	取組	
		1-22 支援団体、支援者との連携強化		サービス	取組	
		1-29 ボランティアとの連携を強める		サービス	取組	
		2-23 地域事業を協働して運営する		サービス	仕組	
		2-24 支援団体とのネットワークづくり	再掲	サービス	仕組	
		2-25 地域文庫との連携強化		サービス	仕組	
		2-29 地域法人との運営連携		サービス	仕組	
		2-44 ボランティア団体とのネットワーク化		サービス	仕組	
	4-8 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源	資料		
	企画 V 図書館	V - 1.事業計画策定	2-4 電子図書館の開設		サービス	仕組
		V - 2.地域館整備及び予約資料受渡拠点整備	1-26 良好な利用環境、執務環境を確保する		サービス	取組
5-1 開放感のある明るい施設				資源	施設	

大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類	
		5-2 ユニバーサルな施設、設備		資源	施設
		5-4 車椅子でも利用できる施設		資源	施設
		5-5 音声案内を含めたわかりやすいサイン		資源	施設
		5-6 本を見つけやすい書架		資源	施設
		5-7 地域館を整備する		資源	施設
		5-8 交通利便性の高い立地		資源	施設
		5-9 複合施設として整備する		資源	施設
		5-10 資料受渡所を設置する		資源	施設
		5-12 いつでも予約受取、返却できる施設の整備	再掲	資源	施設
		6-1 開放感のある空間		資源	空間
		6-2 明るい空間		資源	空間
		6-3 ゆったりとした空間		資源	空間
		6-4 居心地のよい空間		資源	空間
		6-6 プライバシーに配慮した空間		資源	空間
		6-7 干渉されない空間		資源	空間
		6-9 わかりやすい書架配置		資源	空間
		6-10 会話ができる空間		資源	空間
		6-11 学習できる空間		資源	空間
	V - 3.情報システム更改				
	V - 4.業務効率化、サービス向上	2-1 セルフサービスによる貸出返却、予約受取	再掲	サービス	仕組
		2-20 ニーズに配慮した開館日、開館時間		サービス	仕組
V - 5.地域資料デジタル化	2-19 地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報とIT情報の一体化		サービス	仕組	
V - 6.図書館運営改革	1-27 効率的で実効性のある組織に改革する	再掲	サービス	取組	
	2-29 地域法人との運営連携		サービス	仕組	
V - 7.広報・広聴	1-23 「図書館の自由」を広く周知する		サービス	取組	
	2-30 SNSなどの新たなネットワークを形成する		サービス	仕組	
	2-31 既存メディアの積極活用		サービス	仕組	
	2-35 公正な議論の場を設ける		サービス	仕組	
VI 図書館運営	VI - 1.組織運営	1-24 司書を積極的に採用する		サービス	取組
		1-27 効率的で実効性のある組織に改革する		サービス	取組
		2-46 職員間で知識、情報を共有する		サービス	仕組
	VI - 2.業務運営	1-15 市民が参加できる		サービス	取組
		1-25 図書館の社会的責任を明らかにする		サービス	取組
		1-28 安定した事業経営を行う		サービス	取組
		1-31 事業スケールに応じた効率的で実効性のある事業経営を行う		サービス	取組
		2-5 相談しやすいカウンター		サービス	仕組
		2-7 相互利用市の市民も同等に利用できる環境づくり		サービス	仕組
		2-18 時代の状況を見据えた対応		サービス	仕組
		2-20 ニーズに配慮した開館日、開館時間	再掲	サービス	仕組
		2-32 利用者の声を聞く		サービス	仕組
		2-33 市民の声を聞く		サービス	仕組

大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類	
		2-41 図書館の自由検討事例を収集、蓄積する		サービス	仕組
		2-43 利用者の声を蓄積する		サービス	仕組
		3-10 開館日、開館時間に配慮した職員の配置		サービス	職員
	VI - 3.施設運営	1-4 自主学習を支援する	再掲	サービス	取組
		1-26 良好な利用環境、執務環境を確保する	再掲	サービス	取組
		2-34 危機を管理する		サービス	仕組
		3-9 危機管理能力を高める		サービス	職員
		3-13 多言語対応できる職員を採用・育成する	再掲	サービス	職員
		3-14 専門職、専任職を置く		サービス	職員
		5-1 開放感のある明るい施設	再掲	資源	施設
		5-2 ユニバーサルな施設、設備	再掲	資源	施設
		5-3 老朽化に対応し常に安全を保つ		資源	施設
		5-4 車椅子でも利用できる施設	再掲	資源	施設
		5-5 音声案内を含めたわかりやすいサイン	再掲	資源	施設
		5-6 本を見つけやすい書架	再掲	資源	施設
		6-1 開放感のある空間	再掲	資源	空間
		6-2 明るい空間	再掲	資源	空間
		6-3 ゆったりとした空間	再掲	資源	空間
		6-4 居心地のよい空間	再掲	資源	空間
		6-5 季節感のある設え		資源	空間
		6-6 プライバシーに配慮した空間	再掲	資源	空間
		6-7 干渉されない空間	再掲	資源	空間
		6-9 わかりやすい書架配置	再掲	資源	空間
	6-10 会話ができる空間	再掲	資源	空間	
	VI - 4.事業評価（図書館評価）	1-25 図書館の社会的責任を明らかにする	再掲	サービス	取組
	VI - 5.人材育成	2-37 専門員養成プログラム		サービス	仕組
		2-38 地域人養成プログラム		サービス	仕組
		2-39 専門性を有する地域人材として育成する		サービス	仕組
		2-40 倫理綱領の実効性を担保する		サービス	仕組
		3-9 危機管理能力を高める	再掲	サービス	職員
		3-11 「図書館の自由宣言」の理解を深める		サービス	職員
		3-12 倫理綱領にしたがって行動する		サービス	職員
		3-13 多言語対応できる職員を採用・育成する	再掲	サービス	職員
	VI - 6.情報システム	3-14 専門職、専任職を置く	再掲	サービス	職員
		2-34 危機を管理する	再掲	サービス	仕組
		3-9 危機管理能力を高める	再掲	サービス	職員
	VI - 7.外部機関連携	2-36 図書館協議会運営の自立を確保		サービス	仕組



## V. 事業計画



## V. 事業計画

### 1. 重点課題

ここでは、特に事業を推進する観点から、重点となる課題を明らかにします。

#### (1) 事業拡大によるスケールメリットを活かす

町田市は、現在、中央図書館をはじめとして、2012年10月に開館した鶴川駅前図書館を含め地域館6館、文学館1館を擁しており、2015年度には仮称 忠生図書館を開館させる予定になっています。また、予約本の受取サービスも、忠生市民センターをはじめ3箇所を実施し、今後もサービス拠点の拡充を視野に入れており、事業は拡大していきます。

一方、図書館事業、特に図書の貸出返却事業、予約本受取事業は、現在も対面による労働集約型のサービスとなっています。このような状況の中、現状の労働集約型サービスを継続することは、事業拡大によるスケールメリットがないまま、事業を肥大化させることとなります。

民間では、金融機関における現金自動預け入れ払い機（ATM）の導入など、早い段階から自動化、セルフサービス化が進んでいます。また、このことでサービス拠点の拡大も急速に進みました。現在では、金融機関の店舗に出向かなくてもサービスが受けられるようになっています。図書館においても、業務の自動化、セルフサービス化を早急に進める必要があります。

加えて、鶴川駅前図書館は複合施設である「和光大学ポブリホール鶴川」の中にありながら、ホール、コミュニティ施設など他の施設機能と開館日、開館時間が一致していません。開館後、利用者の動向を見据え、図書館の全サービスを一致させる方法もしくは、予約資料の受取サービスを合わせる方法など、業務の自動化、セルフサービス化を取り入れてこの課題も解決していきます。

#### (2) サービスの地域偏在を解消する

上述したとおり、図書館は中央図書館をはじめ現在7館、2015年度には、忠生地域に1館設置する予定で、図書館数は計8館となる予定です。これにより、人口当たりの設置数は、約5万人当たり1館となります。

一方で、地域配置を見ますと、つくし野駅、南町田駅周辺、成瀬周辺、野津田周辺、小山周辺が未だサービスの空白地域となっています。これを補完する観点から、2010年度から南町田駅前連絡所（リエゾン）、忠生市民センター、小山市民センターの3箇所ですべて予約資料の受け渡しサービスを開始しました。その結果、利用実績は想定を大きく上回り、利用ニーズの高さが明らかとなりました。

これら、サービスニーズの高い地域への地域館配置や空白地域へのサービス充実など、サービスの地域偏在解消が課題となっています。

#### (3) 資料のデジタルアーカイブ化を推進する

現在、当館における地域資料は、データ登録されているものだけでも約4万点に及び資料の活用はおろか資料の保存にも支障をきたしています。これら地域資料は、前述したように地域が新しい活動を行っていくうえで重要な資料であり、町田市にとっても、地域の

風俗、歴史の観点から貴重な資料です。これら資料が現在のまま紙の媒体で管理されている限り、地域への積極活用は難しい状況です。これら資料を中長期に亘り計画的にデジタルアーカイブ化していく必要があります。

#### (4) 地域支援に取り組む

図書館はこれまで、市民の活動を支援する目的で、レファレンスサービスを行ってきました。しかし、現在のサービスは市民が問い合わせをして初めて利用できるサービスであり、受身のサービスで、かつ、主に個人を対象としたものでした。一方で、地域には様々な課題が散在し、その課題を解決すべく活動する団体も増加しています。それら団体が有効に活動できるように、地域情報の提供、他の地方の取り組み等これらの活動を後方から支援することも図書館の主要な役割ですが、現在、その取り組みはまったく行っていません。地域活動を活性化するためにも、施設を飛び出してこの取り組みを強化する必要があります。

## 2. 重点事業計画

上述した重点課題解決のための以下の重点事業を定めます。

- (1) 業務の効率化、サービス向上事業
- (2) 地域館整備及び予約資料受渡拠点整備事業
- (3) 地域資料デジタル化、地域支援事業

重点事業概要を次頁以降に示します。

<b>重点事業名</b>	<b>(1) 業務効率化、サービス向上事業</b>		1	目標達成時期	2015年度
<b>重点課題</b>		<b>事業概要</b>			
(1) 事業拡大によるスケールメリットを活かす		2015年度の仮称忠生図書館開館に向け、業務の自動化、セルフサービスを進めることで、新規開館による人件費等経常的経費の増加を抑制するとともに、既存業務の効率化を進める。			
<b>実施案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICタグ等の導入により、資料の貸出業務、予約資料の受取業務をセルフサービス化する。</li> <li>・鶴川駅前図書館など複合施設において、特にニーズの高い予約資料受渡しサービスは、他の施設サービスと同等の開館日、開館時間を実現する。</li> <li>・図書館サービス空白地域において、予約資料の受取り、資料の返却サービス拠点を拡大する。</li> <li>・これらのサービスに対応するため、現行の図書館情報システムを更改する。</li> </ul> <p>※現図書館システムについては、対応する機器のOS（オペレーションシステム コンピュータ制御システム）保守終了が決定しているため、2014年度内に更改する必要もあります</p>				
<b>実施事業名</b>	<b>ICタグ導入</b>	概算費用	336,400千円	実施期間	2013年度～2015年度
<b>事業詳細</b>	<p>現在、資料の貸出の登録は、カウンターで職員がバーコードラベルを読み込むことで対応しています。この方法では、資料1点1点をバーコードリーダーで読み取る必要があります。加えて、無断持ち出し禁止策として書籍に磁気テープ（タトルテープ）を貼っています。貸出時には、この磁気の消磁処理も行わなければなりません。</p> <p>ICタグを導入することにより、約10冊程度を一括して貸出処理が行え、無断持ち出し防止も同時に処理を行えるようになります。この作業を自動化することで、利用者自らが貸し出し処理を行えるセルフサービスも実現できます。</p> <p>また、現在、予約資料の受け渡しもカウンターで行っていますが、これら処理のセルフサービス化も実現できることから、カウンターワークの省力化が期待できます。</p> <p>ICタグコストは、数年前までは120～150円/点でしたが、現在では約30円/点と価格が下落しています。現在、タトルテープの調達価格が、30円/点ですので、運営コストの増加はありません。</p> <p>一方、投資的な経費として、既存資料のICタグ貼付、タグ読み取り機器、自動貸出機、予約棚管理機器および機器配置のための施設改修があります。</p> <p>この中で、特に高コストなのが予約棚管理機器です。予約棚（中央図書館の場合で約7000冊分）の在庫を常時管理するため、ICタグが発する電波を受信するシステムです。そこで、今回の導入では、予約棚の在庫管理をICタグを使わず、カラーバーコードを使用してカメラによる管理とし、導入コストを大幅に削減します。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：59,128千円/年 効果額：61,796千円/年</p>				
<b>スケジュール</b>	2013	2014	2015	2016	2017
	既存資料再装備 (1/2) ICタグ関連機器導入 費用額：(一括) 86,258千円 (分割) 63,866千円	既存資料再装備 (1/2) 施設改修 費用額：(一括) 180,044千円 (分割) 63,866千円	自動貸出機設置 予約資料受渡機器等 設置、稼働 費用額：(一括) 70,098千円 (分割) 74,319千円 効果額： 61,796千円	自動貸出機、予約資料受渡機器等 稼働 費用額：(一括) 20,285千円 (分割) 74,319千円 効果額： 61,796千円	自動貸出機、予約資料受渡機器等 稼働 費用額：(一括) 20,285千円 (分割) 74,319千円 効果額： 61,796千円

実施事業名	鶴川駅前図書館サービス向上	概算費用	9,772 千円	実施期間	2013 年度 ~ 2014 年度
事業詳細	<p>2012 年 10 月、鶴川駅前図書館が開館しました。鶴川駅前図書館は中央図書館と同様の開館日、開館時間となっています。一方、施設である「和光大学ポブリホール鶴川」は、開館日が第一・三月曜日を除く毎日、開館時間は 8:30~22:00 となっています。</p> <p>図書館は施設運営と異なり、閉館時に返却本等の配架、購入資料の予備選定、事業等の実施準備、職員の研修など、開館時には行えない業務を行っていることから、実質的な施設の休館はなく、システムの対応を除くと年末年始のみとなっています。この状況で、開館日、開館時間の延長を行うことは、新たな職員の配置が必要となることから、運営コストの増大を招きます。</p> <p>そこで、利用者の利便性を一定程度確保しつつ、大幅なコスト増を避ける趣旨で、予約資料の受取時間の拡大を行います。</p> <p>鶴川駅前図書館では、「和光大学ポブリホール鶴川」1 階の交流スペースの一角に、自動予約資料受渡コーナーを設置し、図書館の休館日、閉館時間でも予約資料の受け取りができるよう対応を行います。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：2,033 千円/年 効果額：2,800 千円/年</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	設置検討、調整	設置準備	予約資料受渡機器等 設置、稼働  費用額：9,772 千円 (施設改修費を除く) 効果額：2,800 千円	予約資料受渡機器等 稼働  費用額：404 千円 効果額：2,800 千円	予約資料受渡機器等 稼働  費用額：404 千円 効果額：2,800 千円
実施事業名	図書館システム更改	概算費用	見積中	実施期間	2014 年度~ 2015 年度
事業詳細	<p>現在の図書館システムは、1990 年のシステムをベースに、ソフトウェアや機器類を定期的に更新してきました。最近では、新しい OS (オペレーティングシステム コンピュータ制御システム) に対応させるため、2009 年度に機器を更新、機能アップを行いました。しかしその後、OS のバージョンアップが進み、現在使用している OS は保守対象外となっています。そのため、2015 年度に開館する仮称忠生図書館までにはシステムを更改する必要があります。</p> <p>また、機器のリース期限は 2014 年度末までですが、リース延長も上記状況から難しい状況にあります。</p> <p>加えて、この更改時期にあわせ、現在保有していない IC タグシステムとの連携機能組み込み済みパッケージを導入することで、システム改造費用の節約を図ります。</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	システム更改検討 データ移行検討	更改準備  移行データ作成 システム更改 費用額：〇〇千円	新システムによる業務 遂行	新システムによる 業務遂行	新システムによる業 務遂行

重点事業名	(2) 地域館整備及び予約資料受渡拠点整備事業		2	目標達成時期	2015 年度
重点課題		事業概要			
(2) サービスの地域偏在を解消する		地域館整備の考え方、及びサービス偏在解消の考え方を示します。			
実施案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2015 年度に地域館（仮称 忠生図書館）を開設します。</li> <li>・同年度に予約資料受渡拠点を、成瀬センターに開設します。</li> </ul> <p>整備の考え方</p> <p>地域館については、2012 年度の鶴川駅前図書館に引き続き 2 館目の設置となります。この 2 館も同様ですが、図書館、特に地域館は地域の拠点となる施設として、複合施設整備をしてきています。それは、図書館は、書籍等の利用にとどまらず、地域の活動を情報や知識の面から支援する施設と考えるからです。</p> <p>また、昨今図書館に対して学習室設置の要望も市民から多く寄せられています。これまで図書館は、読書の空間整備は行ってきましたが、学習空間の整備は行ってきませんでした。今後は、これらの機能もコミュニティ施設、生涯学習施設との複合施設として整備を検討していきます。このため、図書館単独の整備計画は策定いたしません。</p> <p>また、それを補完する予約資料受渡施設整備も同様に、サービス空白地域の公共施設内に整備していきたいと考えています。</p>				
実施事業名	仮称忠生図書館整備	概算費用	348,850 千円	実施期間	2013 年度 ～ 2015 年度
事業詳細	<p>2015 年度、仮称忠生図書館開設に向け準備を進めます。</p> <p>現在予定している施設規模およびサービス内容は以下のとおりです。</p> <p>延床面積：1203.58 m<sup>2</sup>→ 2 階：開架及びバックヤード、3 階：事務スペース及び可動書庫  蔵書数：一般書 5 万、児童書 2 万 5 千冊、閉架書庫 2 万 5 千冊（合計 10 万冊、開架部分 7 万 5 千冊。但し開館時は 6 万 4 千冊の予定）</p> <p>施設等：一般書コーナー、ヤングアダルトコーナー、児童コーナー（おはなしの部屋含む）、多目的室、閉架書庫、図書事務室、ワークルーム 他</p> <p>サービスコンセプト：（1）世代を超えて交流できる図書館 （2）忠生地域密着型の図書館  （3）子ども読書活動推進計画のモデル図書館</p> <p>※ 公会計上の費用対効果  費用額：157,959 千円／年</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	図書等資料発注 費用額： 70,600 千円	図書等資料発注 備品等購入 開館準備 費用額： 196,450 千円	開館準備 開館 費用額： 175,917 千円	費用額： 116,617 千円	費用額： 116,617 千円

実施事業名	予約資料受渡拠点整備		概算費用	9,272 千円	実施期間	2013 年度 ~ 2015 年度
事業詳細	<p>成瀬センターの建替えにあわせ、同建物内に自動予約資料受渡コーナー、図書返却ポストを設置し、予約資料の受け取り返却ができるよう整備します。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：2,033 千円/年</p>					
	スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
設置検討、調整		設置準備	成瀬センターでの予約資料受渡機器等設置、稼動  費用額：9,772 千円 （施設改修費を除く）	成瀬センターでの予約資料受渡機器等稼動  費用額：404 千円	成瀬センターでの予約資料受渡機器等稼動  費用額：404 千円	

重点事業名	(3) 地域資料デジタル化、地域支援事業		3	目標達成時期	2015 年度
重点課題		事業概要			
(3) 資料のデジタルアーカイブ化 (4) 地域支援		これまで蓄積してきた地域資料のデジタルアーカイブ化を進めます。 地域資料及び司書の情報収集能力を地域活動支援のため活用します。			
実施案	<p>地域資料のデジタルアーカイブ化に着手します。資料点数が膨大なため、中長期的な取組とします。業務は大きく以下に区分して進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料イメージデータ作成</li> <li>・資料目録整備、インデックス情報作成、データベース化</li> <li>・資料のインターネット公開</li> </ul> <p>また、デジタルアーカイブ化した資料、および他地方の情報収集能力により、施設を飛び出して地域活動を支援します。</p>				
実施事業名	資料イメージデータ作成	概算費用	5,000 千円	実施期間	2013 年度 ~ 2017 年度
事業詳細	<p>資料をスキャナで読み取り、デジタルデータを作成します。 業務は、単純作業であることから障がい者就労の受け皿となる可能性が高いため、その方向での実施を模索します。</p> <p>資料総点数 10 万点以上を毎年 10,000 点、10 ヶ年事業とします。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：5,000 千円/年</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	業務設計 受託先調整	実施 (10,000 点/年)  費用額：5,000 千円	実施 (10,000 点/年)  費用額：5,000 千円	実施 (10,000 点/年)  費用額：5,000 千円	実施 (10,000 点/年)  費用額：5,000 千円

実施事業名	資料データベース化、インターネット公開	概算費用	見積中	実施期間	2014年度～ 2017年度
事業詳細	<p>イメージデータの作成と併行して、資料目録を作成します。</p> <p>イメージデータ作成後、必要情報を付加して、デジタルアーカイブデータベースを作成します。</p> <p>作成したデータベースは、レファレンスに活用するほか、インターネットを通じて、地域活動の情報支援として活用します。</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	データベース化検討	目録作成 データベース作成 費用額：〇〇千円	目録作成 データベース作成 費用額：〇〇千円	目録作成 データベース作成 費用額：〇〇千円	目録作成 データベース作成 費用額：〇〇千円
実施事業名	地域支援	概算費用	8,400千円	実施期間	2015年度～ 2017年度
事業詳細	<p>地域の課題解決に取り組んでいる、もしくは、取り組もうとしている団体に対し、司書の能力を活かして資料、情報面から支援します。</p> <p>支援は、施設を飛び出し、それぞれの地域活動団体の会議に参画し、真に必要な支援を見極めることを通じて行います。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：2,800千円/年</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	既活動団体との調整	既活動団体との調整 実施案作成	段階的に実施 費用額：2,800千円	段階的に実施 費用額：2,800千円	段階的に実施 費用額：2,800千円

### 3. 事業計画

#### (1) 事業の構成

事業は機能別に、大事業6事業、中事業35事業で構成し、中事業の下に113の業務があり、その活動を測定するため、活動指標を定めています。

#### (2) 予算事業との相違

予算事業は、館ごとに予算執行が行えるよう、同じ事業でも各館ごとに金額を振り分けて管理しています。しかし一方で、このことが事業機能ごとの効率性を見えにくくしています。そこで、本計画では、館の項目を持たない事業構成としています。

なお、参考のため、館ごとに提供するサービスを、本編巻末「館別実施事業<別紙2>」に示します。

また同様に、資料貸出閲覧事業は、資料の種類ごとにサービス内容が異なります。資料の種類ごとのサービスを、本編巻末「資料閲覧貸出事業資料別内訳<別紙3>」に示します。

#### (3) 事業計画

事業計画を次頁以降に示します。その見方は以下のとおりです。

#### <事業計画表記例>

大事業名	I.資料閲覧貸出	事業費見込(千円)/年	93,111
中事業名	I-1.利用者情報管理	業務一覧	【個人・団体】登録、変更、利用案内、利用停止、登録抹消
代表的な業務	利用者登録	活動指標	新規登録者数、有効登録者数、市民の登録率、登録団体数

大事業名を示します。

大事業ごとの1年あたりの見込み額を示します。

中事業名を示します。

その中事業に属する業務を一覧で示します。

業務一覧で示した業務のうち、代表的な業務を示します。

代表的な業務について、どの程度実行できたのかを測るための活動指標を示します。

大 事 業 名	I.資料閲覧貸出	事業費見込（千円）/年	93,111
---------	----------	-------------	--------

中 事 業 名	I - 1.利用者情報管理		
業 務 一 覧	【個人・団体】登録、変更、利用案内、利用停止、登録抹消		
代表的な業務	利 用 者 登 録	活 動 指 標	新規登録者数、有効登録者数、市民の登録率、登録団体数

中 事 業 名	I - 2.書誌情報管理		
業 務 一 覧	書誌情報取得、書誌情報分類訂正、書誌情報作成、書誌情報訂正		
代表的な業務	書 誌 情 報 取 得、訂 正	活 動 指 標	書誌データ(MARC)登録件数、選定対象資料(図書)数

中 事 業 名	I - 3.選定		
業 務 一 覧	【図書資料】予備選定、選定会議、発注 【雑誌・新聞】選定、発注 【AV資料】選定、発注 【障がい者サービス用資料】選定、発注		
代表的な業務	資 料 選 定	活 動 指 標	選定対象資料(図書)数、図書資料所蔵冊数、 所蔵雑誌タイトル数、所蔵新聞タイトル数、 AV資料所蔵点数、障がい者サービス用資料点数

中 事 業 名	I - 4.資料整理		
業 務 一 覧	【図書・雑誌・AV資料・障がい者サービス用資料】装備、受入、分類訂正、修理、寄贈		
代表的な業務	資 料 受 入	活 動 指 標	購入図書冊数、寄贈等受入図書冊数、受入図書総冊数、 AV資料受入点数、障がい者サービス用資料受入点数

中 事 業 名	I - 5.配架		
業 務 一 覧	配架(開架)、配架(開架→書庫)		
代表的な業務	配 架	活 動 指 標	貸出点数

中 事 業 名	I - 6.蔵書点検		
業 務 一 覧	所蔵資料点検、不明資料等調査		
代表的な業務	蔵 書 点 検	活 動 指 標	点検資料数

中 事 業 名	I - 7.貸出・返却		
業 務 一 覧	貸出、延長貸出、返却、予約(リクエスト)、相互貸借、督促、利用停止、弁償		
代表的な業務	リ ク エ ス ト	活 動 指 標	受付件数
	相 互 貸 借		他館への貸出点数、他館からの借用点数
	貸 出		貸出点数、市民1人あたりの図書貸出冊数
	督 促		督促点数
	利 用 停 止		利用停止者数
	返 却		貸出点数
	不 明		新規不明資料点数
	修 理		修理資料点数
弁 償	弁償資料点数		

中 事 業 名	I - 8.移動図書館		
業 務 一 覧	利用者登録、貸出、返却、予約（リクエスト）、弁償、配架		
代表的な業務	利 用 者 登 録	活 動 指 標	新規登録者数
	リ ク エ ス ト		受付件数
	貸 出 ・ 返 却		ポイント数、巡回回数、貸出冊数、弁償資料冊数

中 事 業 名	I - 9.予約資料貸出返却		
業 務 一 覧	予約（リクエスト）、端本調査、貸出、返却、発注		
代表的な業務	リクエスト、貸出、返却	活 動 指 標	予約件数、予約実現率

中 事 業 名	I - 10.保存・除籍		
業 務 一 覧	保存資料選定、除籍、リサイクル		
代表的な業務	保 存 、 除 籍	活 動 指 標	除籍点数
	リ サ イ ク ル		リサイクル資料冊数

中 事 業 名	I - 11.読書相談		
業 務 一 覧	読書相談、書架案内、予約（リクエスト）		
代表的な業務	読 書 相 談	活 動 指 標	受付件数

大 事 業 名	Ⅱ.利用援助	事業費見込（千円）/年	5,098
---------	--------	-------------	-------

中 事 業 名	Ⅱ - 1.レファレンス		
業 務 一 覧	（地域資料を含む）レファレンス、紹介状発行、複写サービス、パスファインダー、非図書資料の収集、地域資料収集		
代表的な業務	新聞記事切り抜き	活動指標	記事数
	新聞の収集・整理・保存		保存紙数
	レファレンス（調査・連絡）		受付件数、レファレンス連絡票件数、回答率
	紹介状発行		発行件数
	国会図書館等 複写申込・処理		受付件数
	レファレンス記録管理		レファレンス連絡票件数、レファレンスシステム総登録件数
	パスファインダー作成・管理		新規作成・改訂件数、総件数

中 事 業 名	Ⅱ - 2.電子情報閲覧		
業 務 一 覧	インターネット利用、Web-Opac		
代表的な業務	インターネット利用	活動指標	インターネット検索機器の設置
	インターネット 情報サービス		Web-Opacのアクセス件数

中 事 業 名	Ⅱ - 3.障がい者サービス		
業 務 一 覧	利用登録、対面朗読、録音資料作成、点字資料作成、宅配サービス、相互貸借		
代表的な業務	障がい者サービス 利用者への案内	活動指標	新規登録者数、登録者数、貸出タイトル数
	対面朗読		実施件数
	録音図書・雑誌作成		作成件数
	点字図書作成		作成件数
	墨字図書		所蔵冊数
	録音室等管理		利用回数、利用率
	宅配サービス		貸出点数、利用者数、ボランティア登録者数
	障がい者用資料 他館貸出し		貸出点数
障がい者用資料 借用依頼	借用点数		

大 事 業 名	Ⅲ.利用普及	事業費見込（千円）/年	796
---------	--------	-------------	-----

中 事 業 名	Ⅲ - 1.一般向け普及		
業 務 一 覧	映画会、講演会、展示会、講座、特集コーナー		
代表的な業務	映 画 会 実 施	活 動 指 標	実施回数、参加者数、平均参加者数
	講 演 会 実 施		実施回数、参加者数、平均参加者数
	展 示 会 開 催		開催回数
	レファレンス講座開催		実施回数、参加者数
	特 集 コ ー ナ ー 設 置		特集実施回数
	利 用 者 向 け 図 書 館 講 座 開 催		実施回数、参加者数

中 事 業 名	Ⅲ - 2.子ども向け普及		
業 務 一 覧	おはなし会、映画会、ブックリスト作成、支援貸出、学校図書館連携、小学校等見学、おはなしボランティア援助・育成、子ども読書活動推進計画推進、児童展示		
代表的な業務	お は な し 会 実 施	活 動 指 標	実施回数、参加者数
	児 童 え い が 会 実 施		実施回数、参加者数
	学 校 授 業 支 援		登録校数、利用校数、貸出回数、貸出冊数
	学 校 図 書 館 連 携		貸出冊数
	小 中 学 校 見 学 受 入		実施回数
	児 童 展 示 等		実施回数
	お は な し ボ ラ ン テ ィ ア へ の 援 助 ・ 育 成		講座実施回数、講座受講者数、ボランティア登録者数
	子 ど も 読 書 活 動 推 進 計 画 推 進		取り組み件数

中 事 業 名	Ⅲ - 3.YA向け普及		
業 務 一 覧	YA通信作成、YA展、一日図書館員		
代表的な業務	Y A 通 信 作 成	活 動 指 標	発行回数
	Y A 展		実施回数
	一 日 図 書 館 員		参加者数

中 事 業 名	Ⅲ - 4.障がい者向け普及		
業 務 一 覧	点訳・音訳ボランティア講座		
代表的な業務	点訳・音訳ボランティア フ ォ ロ ー 講 座	活 動 指 標	講座実施回数、受講者数、ボランティア登録者数

中 事 業 名	Ⅲ - 5.連携協力		
業 務 一 覧	パブリックコメントコーナー管理、図書館実習、職場体験		
代表的な業務	パブリックコメントコーナー管理	活 動 指 標	パブリックコメント取り扱い件数
	図 書 館 実 習 ( イン タ ー ン 含 む )		実習生受入人数、インターシップ生受入人数
	職 場 体 験		受入人数

大 事 業 名	Ⅳ.地域支援	事業費見込（千円）/年	7,800
---------	--------	-------------	-------

中 事 業 名	Ⅳ - 1.地域支援		
業 務 一 覧	地域支援		
代表的な業務	地 域 支 援	活 動 指 標	活動実施件数

中 事 業 名	Ⅳ - 2.地域協働		
業 務 一 覧	地域協働		
代表的な業務	地 域 協 働	活 動 指 標	活動実施件数

大 事 業 名	V.図書館企画	事業費見込（千円）/年	144,238
---------	---------	-------------	---------

中 事 業 名	V - 1.事業計画策定		
業 務 一 覧	事業計画策定		
代表的な業務	事 業 計 画	活 動 指 標	計画の策定、実施

中 事 業 名	V - 2.地域館整備及び予約資料受渡拠点整備		
業 務 一 覧	地域館整備計画、受渡所配置計画		
代表的な業務	地 域 館 整 備 計 画	活 動 指 標	地域館の開館
	受 渡 所 配 置 計 画		受渡所の開設

中 事 業 名	V - 3.情報システム更改		
業 務 一 覧	システム更改		
代表的な業務	シ ス テ ム 更 改	活 動 指 標	更改の実施

中 事 業 名	V - 4.業務効率化、サービス向上		
業 務 一 覧	I C タ グ シ ス テ ム 導 入 検 討、 予 約 資 料 受 渡 ・ 貸 出 セ ル フ サ ー ビ ス 化 検 討		
代表的な業務	資 料 受 渡 の 自 動 化、 セ ル フ サ ー ビ ス 化	活 動 指 標	自動化・セルフサービス化の実施

中 事 業 名	V - 5.地域資料デジタル化		
業 務 一 覧	対象資料の選定、デジタル化業務設計		
代表的な業務	地 域 資 料 デ ジ タ ル 化	活 動 指 標	デジタル化点数

中 事 業 名	V - 6.図書館運営改革		
業 務 一 覧	図書館運営検討委員会		
代表的な業務	運 営 の 適 正 化	活 動 指 標	主任嘱託員の配置
	図 書 館 運 営 検 討 プ ロ ジ ェ ク ト		運営体制の検討

中 事 業 名	V - 7.広報・広聴		
業 務 一 覧	広報、広聴		
代表的な業務	広 報 等	活 動 指 標	館報発行回数、HPアクセス件数、新聞等掲載記事数
	広 聴		利用者アンケート実施回数

大 事 業 名	Ⅵ.図書館運営	事業費見込（千円）/年	—
---------	---------	-------------	---

中 事 業 名	Ⅵ - 1.組織運営		
業 務 一 覧	係長会、担当係長会、中央図書館主査会、各館係内会議、主任嘱託員会議、担当内会議、労働安全衛生委員会、嘱託員管理		
代表的な業務	係 長 会	活 動 指 標	会議実施回数
	担 当 係 長 会 議		会議実施回数
	中 央 図 書 館 主 査 会		会議実施回数
	各 館 係 内 会 議		会議実施回数
	主 任 嘱 託 員 会 議		会議実施回数
	担 当 内 会 議		会議実施回数
	労 働 安 全 衛 生 委 員 会		会議実施回数
	嘱 託 員 管 理		新規採用者数、嘱託員総数

中 事 業 名	Ⅵ - 2.業務運営		
業 務 一 覧	公聴、利用者懇談会、LSP、保存除籍委員会、図書館の自由委員会、児童サービス委員会、館報編集委員会、市民センター貸出検討会、統計		
代表的な業務	公聴（利用者の声等）	活 動 指 標	受付件数
	利 用 者 懇 談 会		実施回数、参加者数
	L S P		会議実施回数、マニュアル作成・改定件数
	保 存 除 籍 委 員 会		除籍基準改定
	図 書 館 の 自 由 委 員 会		検討資料数、展開事業数
	児 童 サ ー ビ ス 委 員 会		会議実施回数
	館 報 編 集 委 員 会		館報発行回数
	市 民 セ ン タ ー 貸 出 検 討 会		会議実施回数
	統 計		「まちだの図書館」発行
	書 店 等 対 応		対応回数

中 事 業 名	Ⅵ - 3.施設運営		
業 務 一 覧	施設維持管理、施設貸出、読書室等運営、危機管理		
代表的な業務	施 設 維 持 管 理	活 動 指 標	施設の修繕・改修件数
	施 設 貸 出		施設貸出回数、利用率
	読 書 室 等 運 営		利用率
	危 機 管 理		危機管理研修受講者数

中 事 業 名	Ⅵ - 4.事業評価（図書館評価）		
業 務 一 覧	図書館評価		
代表的な業務	図書館評価プロジェクト	活 動 指 標	図書館評価の実施
	図書館評価（統計）		「まちだの図書館」発行

中 事 業 名	Ⅵ - 5.人材育成		
業 務 一 覧	独自研修（研修運営委員会）、OJT、派遣研修		
代表的な業務	独自研修の実施 （OFFJT） （研修運営委員会）	活 動 指 標	研修実施回数
	派遣研修の実施 （OFFJT）		派遣人数
	独自研修の実施（OJT）		研修時間数

中 事 業 名	Ⅵ - 6.情報システム		
業 務 一 覧	マシン運用・管理、図書館システム異常故障対応、図書館情報システム外システムの管理		
代表的な業務	マシン運用・管理	活 動 指 標	設定変更対応回数
	図書館システム故障対応		発生・対処数
	図書館システム関連調査		調査件数
	図書館情報システム外 システムの管理		管理端末台数（図書館システム端末台数・OA業務その他 端末台数）

中 事 業 名	Ⅵ - 7.外部機関連携		
業 務 一 覧	図書館協議会事務局、東京都市町村図書館館長協議会、東京都図書館協会、東京都公共図書館連絡会、 都内図書館連絡会、図書館相互利用連携、市政情報室資料データ作成、各種調査回答		
代表的な業務	図書館協議会事務局	活 動 指 標	協議会開催回数、諮問件数
	東京都市図書館 館長協議会		出席回数
	東京都図書館協会		出席回数
	東京都公共図書館連絡会		出席回数
	都内図書館担当者会		出席回数
	図書館相互利用連携		相互利用連携自治体数
	東京都への 所蔵資料データ提出		データ件数
	市政情報室 資料データ作成		データ件数
	各種調査回答		回答件数



## VI. 計画を進めるにあたって



## VI. 計画を進めるにあたって

### 1. 計画の管理

本計画の管理は、以下の方法で行います。

#### (1) 施策

施策達成状況は施策達成水準に対する達成状況で確認します。

#### (2) 重点事業

重点事業は、重点事業計画に示しているスケジュールどおりに進捗しているかで確認します。

#### (3) 事業

事業は、予め定めた活動指標（効率性指標）で確認します。活動指標の実績は毎年度記入し、経年変化が一目でわかるようにします。

活動指標については、上記のほか、他市の状況も収集して、比較考量ができるようにします。ただし、収集時期の関係で、公表時期は異なります。

なお、予算が所与のものでないことから、重点事業、事業は本計画から変化することがあります。

### 2. 計画の中間確認および見直し

#### (1) 計画の中間確認および見直し

本計画第2年度終了後、その結果を見て、施策に寄与すべき事業の中間確認および見直しを行います。これは、当初計画した、施策達成に寄与する事業が、実際に寄与しているかの確認を行うとともに、実施により、実効性がないもしくは低いことが明らかとなった場合に事業手法を改善するために行うものです。

#### (2) 計画の見直し

未来づくりプラン、教育マスタープラン等、上位計画が改定もしくは策定されたときは、上位目標を実現するため、施策、事業の見直しを行います。ただし、「図書館運営理念と目標」を実現する施策は確保します。

### 3. 計画の総括

計画の総括は、本計画第4年度終了後に行い、公表します。その際、最終年度の事業および施策の達成水準は予測値として総括し、最終年度終了後に結果を補います。



# 資 料 編



施策一覧

<別紙1>

施策ID	施策区分	区分	施策名	上位の意図(施策目標)	施策の説明	達成指標	達成状態
1-1	サービス	取組	読みたい本がある	子どもが本に親しめる図書館にします	利用者が読みたいと思う資料が蔵書にある、もしくは、他の図書館から借りられるようにします。	リクエスト実現率	95%以上
				家族の読書活動を支援します			
1-2	サービス	取組	お薦め本を紹介する	子どもの読書習慣が身につく図書館にします	幼児、児童、YA世代に向け、お薦めの資料を紹介します。	お薦め本回転率	10回以上/年
1-3	サービス	取組	調査研究を支援する	バランスの取れた収集・情報提供を行います。	資料等調査依頼に対応します。	レファレンス回答率	90%以上
1-4	サービス	取組	自主学習を支援する	成長に応じた知識の習得ができる図書館にします	学習に必要な情報、資料を提供します。	学習のためのレファレンス利用件数	100件以上/年
1-5	サービス	取組	定期的に催し物を開催する	居場所づくりを支援します	楽しみながら学習できる機会を提供します。	参加率(参加者数/定員)	80%以上
1-6	サービス	取組	子どもが楽しめる事業を実施する	楽しい図書館にします	子どもが楽しみながら資料に親しんでいける機会を作ります。	事業実施回数	12回/年館
1-7	サービス	取組	子どもが楽しめるサービスを実施する	子どもが本に親しめる図書館にします	子どもが図書館に来なくなるサービスを実施します。	サービス利用者数	8,000人以上/年
1-8	サービス	取組	親子向けサービスを実施する	親子で本に親しめる図書館にします	親子で図書館に来なくなるサービスを実施します。	親子参加者数	3,000人以上/年
				家族の読書活動を支援します			
1-9	サービス	取組	高齢者が楽しめる事業を実施する	楽しい図書館にします	映画会の開催など、高齢者が一人で図書館に訪れても楽しめる事業を実施します。	事業参加者数	5,000人以上/年
1-10	サービス	取組	趣味がもてるきっかけづくり	生きがいづくりを支援します	趣味づくりのきっかけとなる、各種テーマ展示や教養講座を実施します。	事業参加者数	300人以上/年
1-11	サービス	取組	趣味がつなげるコミュニケーションづくり	生きがいづくりを支援します	同じ趣味を持つもの同士が出会える機会を作ります。	事業参加者のうち話し相手見つかった人の割合	5%以上
				i.コミュニケーションの場づくり、きっかけ作りを行います			
1-12	サービス	取組	興味でつなげるコミュニケーションづくり	生きがいづくりを支援します	教養講座から発展し、共通のテーマ、分野でコミュニケーションができる機会を作ります。	事業参加者のうち話し相手見つかった人の割合	5%以上
				i.コミュニケーションの場づくり、きっかけ作りを行います			
1-13	サービス	取組	朗読、録音、点字翻訳をする	誰でも利用できる図書館にします	視覚障がい者が資料に親しめるよう、音や点字のライブラリーを増やします。	ライブラリー数	100件以上/年
				視覚障がい者向けサービスを提供します			
1-14	サービス	取組	地域資料収集、分析による地域の特性把握とその提供	市民の生活、活動の各シーンに即したサービスを提供します	地域で活動する市民・団体に提供するため、地域資料の収集、および資料分析を積極的に行い、地域の特性を把握します。	サービスを提供した地域数	2地域以上/年
				地域に関する情報の系統だった収集と効率的な発信を行います			
1-15	サービス	取組	市民が参加できる	時代に適応した図書館にします	市民に対してサービスを提供するだけでなく、市民自身が参加し、貢献できる事業や機会を作ります。	市民参加型事業数	1件以上/年
1-16	サービス	取組	ボランティアサービスの質を上げる	支援団体との連携、ネットワークづくりを強化します	ボランティアの自主的な研鑽に依存することなく、継続してボランティアの養成、技能向上策を講じます。	ボランティアサービスの満足度	50%以上
1-17	サービス	取組	ボランティアサービスの幅を広げる	支援団体との連携、ネットワークづくりを強化します	多くのボランティアが図書館運営に関われるよう、ボランティアサービスの幅を広げます。	ボランティア参加事業数	5件以上/年
1-18	サービス	取組	地域の活動を支援する	時代に適応した図書館にします	地域の人々が地域の課題を解決する活動を資料、情報の面から支援します。	地域の方からの相談数	10件以上/年
1-19	サービス	取組	地域の団体と連携する	学校、地域と連携します	地域で活動する団体、地域課題解決に取り組む団体と資料、情報面で連携協力します。	連携団体数	2団体以上/年
1-20	サービス	取組	地域文庫と連携する	図書館運営の地域協働化を進めます	地域文庫の活動を地域に広め、担い手の確保、図書館事業との連携を進めます。	連携している地域文庫数	3文庫以上

施策一覧

<別紙1>

施策ID	施策区分	区分	施策名	上位の意図（施策目標）	施策の説明	達成指標	達成状態
1-21	サービス	取組	学校事業を支援する	学校、地域と連携します	学校およびPTA、保護者会が進める事業を図書館の資料や人的資源を活用して支援します。	連携している学校数	5校以上
1-22	サービス	取組	支援団体、支援者との連携強化	図書館運営の地域協働化を進めます	図書館活動を支援している団体や支援者との連携を一層密にします。	連携している団体数	5団体以上
1-23	サービス	取組	「図書館の自由」を広く周知する	「図書館の自由に関する宣言」の理解を深め、広めます	国民の基本的人権のひとつである知る自由を確保するため、「図書館の自由」に関して、広く市民に知ってもらい取り組みを進めます。	「図書館の自由」を知っている利用者の割合	50%以上
1-24	サービス	取組	司書を積極的に採用する	司書資格保有率を高めます	適確なサービス、質の高いサービスを行えるよう司書資格保有者を採用します。	職員の内司書資格を保有している者の割合	90%以上
1-25	サービス	取組	図書館の社会的責任を明らかにする	図書館員の社会的責任を明らかにして行動します。	「図書館員の倫理綱領」に基づき、図書館員が具体的に負うべき責任を明らかにし、広く発信します。	「図書館員の倫理綱領」を知っている利用者の割合	30%以上
1-26	サービス	取組	良好な利用環境、執務環境を確保する	良好な利用環境、執務環境を確保します	事務所衛生基準規則およびビル管理法に基づく基準遵守を基礎とし、良好な執務環境を確保します。	職員からの事務所環境への苦情件数	0件/年
1-27	サービス	取組	効率的で実効性のある組織に改革する	効率的で実効性のある組織経営を行います	マネジメント目標を明らかにした組織経営を行います。	職員1人当たり来館者数	11,000人以上/年
1-28	サービス	取組	安定した事業経営を行う	実効性があり安定した事業経営を行います	コスト安定性がありかつ継続性のある人材確保策を講じます。	職員採用実績 蔵書コスト 年比較	応募倍率2倍以上 蔵書コスト 950円/冊以下
1-29	サービス	取組	ボランティアとの連携を強める	視覚障がい者向けサービスを提供します 移動困難者向けサービスを提供します 精神、知的障がい者の利用環境を整えます	現在ボランティアサービスを行っている、視覚障がい者サービス、宅配サービスを引き続き安定して行うとともに、本に出会う機会の少ない他の障がい者向けサービスの拡充を行います。	障がい者別サービスの種類数 サービス利用者数	5サービス以上 30人以上
1-30	サービス	取組	政策立案を支援する	行政関係者向けに社会動向に応じた情報を適確に提供します。	社会動向の変化を収集、整理し、政策立案に資する情報を提供します。	情報提供数	12件以上/年
1-31	サービス	取組	事業スケールに応じた効率的で実効性のある事業経営を行う	実効性があり安定した事業経営を行います	今後、新規施設の開館やサービスの拡充を進める際、常に既存サービスを見直し、より効率性の高い事業手法を選択します。	事業、サービス拡大時の事業手法を改善	施設拡大時に 事業手法改善
2-1	サービス	仕組	セルフサービスによる貸出返却、予約受取	利用しやすい図書館にします	資料の貸出を対面による人的サービスだけでなく、セルフサービスも実施します。	貸出返却予約受取セルフサービス化状況	実施
2-2	サービス	仕組	資料本体と付録的確管理	複合した資料を適切に提供します	資料本体と付録単独での記録管理とセットでのチェックが行えるようにします。	資料本体と付録の連携管理を可能に	実施
2-3	サービス	仕組	シリーズ本の巻順提供	複合した資料を適切に提供します	シリーズの資料を巻順に提供できるシステムを確立します。	巻順予約、提供を可能に	実施
2-4	サービス	仕組	電子図書館の開設	時代に適応した図書館にします いつでも利用できる図書館にします	電子書籍普及の進展にあわせ、電子書籍貸出を進めます。	電子図書館もしくは電子書籍貸出を実施	実施
2-5	サービス	仕組	相談しやすいカウンター	成長に応じた知識の習得ができる図書館にします	利用者がゆったりとした気持ちで相談ができるよう心がけます。	利用者満足度	80%以上
2-6	サービス	仕組	充実したリクエスト制度	利用者のニーズに応える図書館にします バランスの取れた収集・情報提供を行います。	リクエスト動向を見据えた資料収集を行い、リクエストに確実に応えます。	リクエスト実現率	95%以上
2-7	サービス	仕組	相互利用市の市民も同等に利用できる環境づくり	誰でも利用できる図書館にします	隣接市との相互利用を進めます。また、相互利用市市民も予約ができるよう環境整備を進めます。	相互利用市利用者の予約を可能に	実施
2-8	サービス	仕組	本を自宅まで届ける	視覚障がい者向けサービスを提供します 移動困難者向けサービスを提供します 移動制約を受けない図書の利用を促進します	様々な障がいから、図書館に訪れることができない方への、本の宅配を進めます。	宅配実現率	100%

施策一覧

<別紙1>

施策ID	施策区分	区分	施策名	上位の意図（施策目標）	施策の説明	達成指標	達成状態
2-9	サービス	仕組	メディアに囚われないレファレンスサービス	メディアに囚われないサービスを提供します。 行政関係者向けに社会動向に応じた情報を適確に提供します。	レファレンス利用に際し、デジタル資料など様々な資料へアクセスできる環境を逐次整え、サービスを提供します。	レファレンス依頼時デジタル資料不足による提供不能数	0件
2-10	サービス	仕組	自立学習型レファレンス	成長に応じた知識の習得ができる図書館にします	学習に必要な情報、資料を提供します。	学習のためのレファレンス利用件数	100件以上
2-11	サービス	仕組	多言語に対応したレファレンス	多言語資料の収集、多言語のレファレンスを進めます	レファレンス申し込みに対し、日本語資料だけでなく、他の言語の資料も提供できる環境を整えていきます。	他の言語によるレファレンス依頼対応不能数	0件
2-12	サービス	仕組	資料解説、読解支援	すべてのサービスで専門性を発揮します	職員各自がそれぞれ得意分野を持ち、資料の解説や読解の支援を行います。	得意分野を持つ職員の割合	1/3以上
2-13	サービス	仕組	達成感が得られる読書活動支援	子どもの読書習慣が身につく図書館にします	興味が持続し、かつ、ステップアップできるように、子ども向けお薦め本リストと解説サービスなどの読書支援を行います。	達成できた子どもの割合	30%以上
2-14	サービス	仕組	ライフステージに即した資料の提供	市民の生活、活動の各シーンに即したサービスを提供します	ライフステージ毎に、資料、情報を提供します。	提供資料利用割合	2.0倍以上
2-15	サービス	仕組	生活シーンに即した資料の提供	市民の生活、活動の各シーンに即したサービスを提供します	日常生活の各シーン毎に、必要な資料、情報を提供します。	設定シーン数利用数	3シーン/年 50人/シーン
2-16	サービス	仕組	本から生まれる活動を支援する	コミュニケーションの場づくり、きっかけ作りを行います	本や資料をきっかけとした人と人の輪づくりを行います。	活動の場の数	3件以上
2-17	サービス	仕組	新しい情報を発信する	行政関係者向けに社会動向に応じた情報を適確に提供します。	行政を取り巻く情報を収集整理し、発信します。	発信数活用数	12回以上/年 60件以上/年
2-18	サービス	仕組	時代の状況を見据えた対応	「図書館の自由に関する宣言」の理解を深め、広めます	ICT技術の進展やそれを取り巻く法制度を収集し、市民の人権を守る行動をします。	事例研究頻度 周知回数	6件以上/年 4回以上/年
2-19	サービス	仕組	地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報とIT情報の一体化	時代に適応した図書館にします 地域に関する情報の系統だった収集と効率的な発信を行います	既存地域資料のデジタル化を進め、より活用しやすい状況を作ります。	コンテンツのデジタル化率	10%以上増加/年
2-20	サービス	仕組	ニーズに配慮した開館日、開館時間	いつでも利用できる図書館にします 訪れやすい図書館にします 使いやすい図書館にします	コストバランスを常に意識しながら、開館日、開館時間の拡大に取り組みます。	拡大時間の割合	20%以上
2-21	サービス	仕組	地域が図書館活動に参加できる仕組づくり	図書館運営の地域協働化を進めます	幼児、児童向けおはなし会、ブックトークなどの図書館活動に多くの地域の人が参加できる場づくりを行います。	市民が参加する活動の数	10箇所以上
2-22	サービス	仕組	地域づくりを後方支援する	地域の活動を支援します	地域を活性化するためにがんばっている団体に、テーマに即した資料や情報の提供で後方支援します。	団体数	10団体以上
2-23	サービス	仕組	地域事業を協働して運営する	地域との協働を推進します	司書の専門性を活かして地域に飛び込み、地域の課題解決に協働して取り組める環境を整えます。	協働した取り組み数	3件以上
2-24	サービス	仕組	支援団体とのネットワークづくり	図書館運営の地域協働化を進めます	地域で活動する各種支援団体と連携して図書館運営できる仕組みづくりを進めます。	連携団体数	10団体以上
2-25	サービス	仕組	地域文庫との連携強化	学校、地域と連携します	地域文庫とのより一層の情報共有により業務連携を強化します。	連携文庫数	3文庫以上
2-26	サービス	仕組	学校図書館との連携強化	学校、地域と連携します	学校図書館の状況を共有するとともに、相互に協力できる環境を作ります。	相互協力学校数	30校以上
2-27	サービス	仕組	他図書館との緊密な資料連携	社会動向、地域特性に立脚した資料収集をすすめます	他自治体図書館、特に都26市、23区の公立図書館と連携して資料の協働保存、活用の仕組みづくりを進めます。	共同書庫の設置	設置
2-28	サービス	仕組	他機関と緊密に連携する	視覚障がい者向けサービスを提供します バランスの取れた収集・情報提供を行います。	公文書館等有用な資料を持つ図書館以外の様々な機関との連携関係を構築します。	連携機関数	5機関以上
2-29	サービス	仕組	地域法人との運営連携	図書館運営の地域協働化を進めます	地域で活動する公益法人と連携して図書館運営できる仕組みづくりを進めます。	連携公益法人	存在する

施策一覧

<別紙1>

施策ID	施策区分	区分	施策名	上位の意図(施策目標)	施策の説明	達成指標	達成状態
2-30	サービス	仕組	SNSなどのロコミニネットワークを形成する	ソーシャルネットワークへの発信など、発信力を強化します 支援団体との連携、ネットワークづくりを強化します	支援団体、法人、ボランティアとの交流を活発化するため、SNSを積極的に活用します。	SNS参加者数	20万人
2-31	サービス	仕組	既存メディアの積極活用	ソーシャルネットワークへの発信など、発信力を強化します	新聞、CATV、チラシ、広報などを通じ、新しいメディアに触れる機会のない方にも積極的に情報発信を続けます。	発信回数	2回以上/月
2-32	サービス	仕組	利用者の声を聞く	利用者の要望、苦情を常に把握、分析し業務に活かします	現在も行っている「利用者の声」をしっかりとデータ化するとともに、その結果を広く利用者に伝えます。	利用者の声統計公表 利用者の声ボード設置	公表 設置
2-33	サービス	仕組	市民の声を聞く	利用者の要望、苦情を常に把握、分析し業務に活かします	市民モニターや郵送アンケート等を通じ定期的に市民のニーズを調査し、事業に活かします。	市民モニター実施および結果公表	実施、公表
2-34	サービス	仕組	危機を管理する	安全で使いやすい図書館にします	館内事故対応から、情報管理、新型インフルエンザ対策まで、あらゆる危機を想定したリスクマネジメントを進めます。	危機管理マニュアル改訂および保守、公表	策定、公表
2-35	サービス	仕組	公正な議論の場を設ける	「図書館の自由に関する宣言」の理解を深め、広めます	利用者や市民の意見を直接お聞きするため、図書館運営に関する意見交換、議論の場を定期的に設けます。	図書館利用者懇談会の開催と結果公表	複数回/年開催、結果公表
2-36	サービス	仕組	図書館協議会運営の自立を確保	図書館協議会の自立性を担保します	「図書館協議会」が第三者的立場から自立的に課題を設定、検討し、図書館に提言できる道筋を担保することで、運営の自立性を確保します。	図書館への提言、意見公表	提言、意見
2-37	サービス	仕組	専門員養成プログラム	司書資格保有率を高めます 専門性向上に努めます	職員の専門性を向上させるため、館内研修、講師養成を充実するとともに、必要に応じて、派遣研修を実施します。	司書資格保有率	90%以上
2-38	サービス	仕組	地域人養成プログラム	地域人を養成します	職員が図書館に閉じこもることなく地域で活動できるよう、地域団体、法人と連携して、地域人を養成します。	実施回数	12回以上/年
2-39	サービス	仕組	専門性を有する地域人材として育成する	優れた人材を育成します	地域と連携することで、図書館員としてだけでなく、行政職員としての専門性を持つ人材として育成します。	実施回数	12回以上/年
2-40	サービス	仕組	倫理綱領の実効性を担保する	図書館員の社会的責任を明らかにして行動します。	「町田市図書館の自由委員会」において、倫理綱領に触れる事例を検討することで、理解を深めるとともに、常に当館の状況に目を配り、小さなことでも適確に対応できるようにします。	検討回数 対応実績	12回/年 検討結果に伴う対応実績公表
2-41	サービス	仕組	図書館の自由検討事例を収集、蓄積する	「図書館の自由に関する宣言」の理解を深め、広めます	「町田市図書館の自由委員会」において、常に、図書館の自由検討事例を収集、分析、蓄積し、その結果を発信するとともに、事態に即応できる状況を作ります。	検討回数	12回/年 検討結果に伴う対応実績公表
2-42	サービス	仕組	法人、障がい者団体の本を活用した活動を後方支援する	精神、知的障がい者の利用環境を整えます	本に触れる機会の少ない、精神、知的障がい者がもっと本に触れられるよう、障がい者団体、社会福祉法人の活動を後方支援します。	実施数	2団体以上の連携
2-43	サービス	仕組	利用者の声を蓄積する	利用者の要望、苦情を常に把握、分析し業務に活かします	利用者の声を蓄積、分類、公表することで、利用者の真のニーズを捉えます。	利用者の声統計公表	公表
2-44	サービス	仕組	ボランティア団体とのネットワーク化	支援団体との連携、ネットワークづくりを強化します	常に状況を共有し、連携するために、ボランティア団体との情報共有ネットワークを設置します。	ボランティア団体とのネットワーク構築	ネットワーク 設置
2-46	サービス	仕組	職員間で知識、情報を共有する	優れた人材を育成します	知の集積を実現するため、ナレッジデータベースを整備します。	ナレッジシステムの確立	整備
3-1	サービス	職員	プライバシーに配慮した職員対応	利用しやすい図書館にします	危機管理プログラムの一環として、情報管理、プライバシー保護を教育します。	プライバシーに関する苦情件数	0件/年

施策一覧

<別紙1>

施策ID	施策区分	区分	施策名	上位の意図(施策目標)	施策の説明	達成指標	達成状態
3-2	サービス	職員	相談しやすい雰囲気づくり	利用しやすい図書館にします 子どもの読書習慣が身につく図書館にします	常に明るく、傾聴の姿勢で対応できる職員を養成します。	利用者満足度調査結果	80%以上
3-3	サービス	職員	明るく、優しい対応	こころ安らぐ図書館にします	常に明るく、利用者目線で対応できる職員を養成します。	利用者満足度調査結果	80%以上
3-4	サービス	職員	適度な利用者サポート	使いやすい図書館にします	利用者の動きに目を配り、求められるときに迅速かつ優しくサポートできる職員を養成します。	利用者満足度調査結果	80%以上
3-5	サービス	職員	知識豊富な職員の配置	利用者のニーズに応える図書館にします	各種機会を通じ、知識を涵養し、その知識を業務に活かします。	利用者のとしかけに答えられない事例の割合	5% 未満
3-6	サービス	職員	資料相談に適切に答える知識を持つ	すべてのサービスで専門性を発揮します	多くの職員の知識をナレッジとして蓄積し、それを通じて知識を涵養します。	利用者の相談に答えられない事例の割合	10% 未満
3-7	サービス	職員	レファレンス精度を向上する	成長に応じた知識の習得ができる図書館にします すべてのサービスで専門性を発揮します	利用者ニーズのヒアリング技術習得および検索、探索の観点の発想力強化のトレーニングプログラムを実施します。	レファレンスにおいて利用者のニーズに応えられなかった事例の割合	10% 未満
3-8	サービス	職員	読み聞かせ能力を高める	すべてのサービスで専門性を発揮します	優れた語り手からの学習の機会を確保します。	利用者評価満足度	80%以上
3-9	サービス	職員	危機管理能力を高める	安全で使いやすい図書館にします	リスクマネジメントマニュアルの講習を定期的に行うとともに、シミュレーション訓練を徹底します。	職員の危機管理能力(講習実施回数)	4回/年 リスク内容を変えて実施
3-10	サービス	職員	開館日、開館時間に配慮した職員の配置	いつでも利用できる図書館にします	コストバランスを意識し、効率的な職員配置を行います。	必要職員の適正配置	配置
3-11	サービス	職員	「図書館の自由宣言」の理解を深める	「図書館の自由に関する宣言」の理解を深め、広めます	多くの事例を通じて、早期に理解を深めます。	事例検討結果を使用した研修の実施	実施
3-12	サービス	職員	倫理綱領にしたがって行動する	図書館員の社会的責任を明らかにして行動します。	「図書館の自由委員会」の事例を活用したトレーニングを実施することで、より具体的に理解できるようにします。	事例検討結果を使用した研修の実施	実施
3-13	サービス	職員	多言語対応できる職員を採用・育成する	多言語資料の収集、多言語のレファレンスを進めます	多言語対応できる職員を積極的に採用します。	他言語対応できる職員数	中央館に2人以上
3-14	サービス	職員	専門職、専任職を置く	すべてのサービスで専門性を発揮します	有資格職員を配置するとともに、人事異動に専任職としてその専門性を発揮できる職場(部総務等情報収集、調査、分析)間のローテーションを調整します。	司書の専任職化	専任職化
4-1	資源	資料	豊富な資料を提供する	利用者のニーズに応える図書館にします	資料収集方針を明らかにするとともに、利用者のリクエストに応えていきます。	リクエスト実現率	95%以上
4-2	資源	資料	求める資料が得られる	利用者のニーズに応える図書館にします 使いやすい図書館にします	資料購入、他館借入れなど様々な手段を講じてリクエストに応えます。	リクエスト実現率	95%以上
4-3	資源	資料	バランスの取れた資料収集と保存	社会動向、地域特性に立脚した資料収集をすすめます	資料収集に当たり社会の動き、地域の状況、利用動向を踏まえた資料収集を行います。	資料に対する利用者満足度	80%以上
4-4	資源	資料	社会の動きを見据えた資料収集	行政関係者向けに社会動向に応じた情報を適切に提供します。	資料収集に当たり社会の動き、地域の状況、利用動向を踏まえた資料収集を行います。	行政関係者満足度	80%以上
4-5	資源	資料	子ども向け資料の充実	子どもが本に親しめる図書館にします	絵本をはじめとして、子どもが手に取りたい本を収集します。	利用者満足度	80%以上
4-6	資源	資料	多言語資料の収集	多言語資料の収集、多言語のレファレンスを進めます	外国語資料を収集します。	他言語資料数の割合	0.5%以上
4-7	資源	資料	メディアに囚われない収集	メディアに囚われないサービスを提供します。	書籍などの紙媒体以外に、レファレンス用を主体に電子媒体での情報収集を充実します。	電子媒体の資料数	100タイトル以上

施策一覧

<別紙1>

施策ID	施策区分	区分	施策名	上位の意図(施策目標)	施策の説明	達成指標	達成状態
4-8	資源	資料	地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	社会動向、地域特性に立脚した資料収集をすすめます	市内各地域、町田、多摩、武蔵・相模、東京などの歴史、地理、文化、生活情報を積極収集します。	地域資料充実度	地域資料増加冊数1,000冊以上/年
				バランスの取れた収集・情報提供を行います。			
				地域特性に立脚した資料収集を行います			
4-9	資源	資料	他言語資料の日本語での提供	多言語資料の収集、多言語のレファレンスを進めます	利用者の要望に応じ、ボランティアなどの協力を得て、外国語資料の日本語翻訳できる体制を整えます。	体制整備	整備
4-10	資源	資料	成長に応じた知識習得のシナリオ化	成長に応じた知識の習得ができる図書館にします	幼児から高校生まで、成長に応じ必要となる(お薦めの)知識を系統立てて提供します。	知識習得シナリオの作成	作成
5-1	資源	施設	開放感のある明るい施設	利用しやすい図書館にします	資料を選び、読みやすいように明るく、見通しのよい空間を作ります。	利用者満足度	80%以上
5-2	資源	施設	ユニバーサルな施設、設備	利用しやすい図書館にします	ユニバーサルデザインを意識した施設、設備にします。	バリアに関する苦情件数	0件
				使いやすい図書館にします			
				安全で使いやすい図書館にします			
5-3	資源	施設	老朽化に対応し常に安全を保つ	安全で使いやすい図書館にします	施設、設備の老朽化状況を点検し、常に安全な状態を確保します。	苦情件数	0件
5-4	資源	施設	車椅子でも利用できる施設	誰でも利用できる図書館にします	バリアフリー、ユニバーサルデザインを意識した施設、設備にします。	車椅子利用者からの苦情件数	0件
5-5	資源	施設	音声案内を含めたわかりやすいサイン	誰でも利用できる図書館にします	音声案内を含め、健常者、障がい者共に利用しやすいサインを検討します。	サイン計画の作成とサインの実施	計画作成、実施
5-6	資源	施設	本を見つけやすい書架	子どもが本に親しめる図書館にします	図書分類や図書館独自の配架ルールを利用者が体得できる表示や機会を多く設けます。	利用者満足度	80%以上
				親子で本に親しめる図書館にします			
5-7	資源	施設	地域館を整備する	どこでも利用できる図書館にします	図書館設置空白地域に地域館を整備します。	図書館当り人口	5万人/館
5-8	資源	施設	交通利便性の高い立地	訪れやすい図書館にします	施設の新設検討時には交通利便性を考慮します。	利用者満足度	80%以上
5-9	資源	施設	複合施設として整備する	ゆったりとくつろげる図書館にします	施設の新設の際は、単独施設ではなく、地域に寄与できる施設として、コミュニティ施設機能、青少年施設機能などとの複合施設として整備します。	利用者満足度	80%以上
				居場所づくりを支援します			
				i.コミュニケーションの場づくり、きっかけ作りを行います			
5-10	資源	施設	資料受渡所を設置する	どこでも利用できる図書館にします	利用者の利便性を向上するため、近くに図書館のない地域へ予約資料の受渡を行う受渡所を整備します。	サービス空白地域数	0件
5-11	資源	施設	移動図書館車サービス	どこでも利用できる図書館にします	肌理(きめ)細やかな地域サービスを実現するため、移動図書館車サービスを継続します。	サービス空白地域数	0件
				移動困難者向けサービスを提供します			
				移動制約を受けない図書の利用を促進します			
5-12	資源	施設	いつでも予約受取、返却できる施設の整備	利用しやすい図書館にします	図書館閉館時でも予約資料の受取ができ、資料の返却ができる施設や設備を整えます。	施設数	3施設
5-13	資源	施設	インターネット接続サービス	メディアに囚われないサービスを提供します。	図書館内でインターネットに接続できるようにします	施設数	8館
5-14	資源	施設	インターネット検索機器を配置	メディアに囚われないサービスを提供します。	インターネット検索機器を順次整備します。	施設数	3館
6-1	資源	空間	開放感のある空間	利用しやすい図書館にします	広がりを感じられる開放感のある書架空間にします。	利用者満足度	80%以上
6-2	資源	空間	明るい空間	楽しい図書館にします	自然光の調整、明るい内装色など、明るい空間づくりにつとめます。	利用者満足度	80%以上
6-3	資源	空間	ゆったりとした空間	こころ安らぐ図書館にします	ゆったりと過ごせる空間づくりにつとめます。	利用者満足度	80%以上
				安全で使いやすい図書館にします			
				ゆったりとくつろげる図書館にします			

施策一覧

<別紙1>

施策ID	施策区分	区分	施策名	上位の意図（施策目標）	施策の説明	達成指標	達成状態
6-4	資源	空間	居心地のよい空間	訪れやすい図書館にします ゆったりとくつろげる図書館にします	落ち着いた読書ができる空間づくりにつとめます。	利用者満足度	80%以上
6-5	資源	空間	季節感のある設え	楽しい図書館にします	四季や節気を感じられ、季節の移ろいを意識できる空間づくりにつとめます。	利用者満足度	80%以上
6-6	資源	空間	プライバシーに配慮した空間	利用しやすい図書館にします	ゆったりとした空間づくりにつとめます。	利用者満足度	80%以上
6-7	資源	空間	干渉されない空間	ゆったりとくつろげる図書館にします	利用者同士の距離を考慮した空間づくりを行います。	利用者満足度	80%以上
6-8	資源	空間	見つけやすい、調べやすい配置	利用しやすい図書館にします	書架配置、案内表示を工夫し、資料を見つけやすく、調べやすくします。	利用者満足度	80%以上
6-9	資源	空間	わかりやすい書架配置	使いやすい図書館にします	利用者が直感的に探しやすい書架配置を目指します。	利用者満足度	80%以上
6-10	資源	空間	会話ができる空間	子どもが本に親しめる図書館にします 親子で本に親しめる図書館にします 家族の読書活動を支援します	少しうるさくても、親子が会話でき楽しめる空間づくりを行います。	利用者満足度	80%以上
6-11	資源	空間	学習できる空間	成長に応じた知識の習得ができる図書館にします	誰もが集中して学習できる空間の確保を目指します。	学習空間面積 （複合施設他機能施設を含む）	50㎡以上/ 施設

事業 大事業	対象館										
	中 図 書 館	央 図 書 館	さ る び あ 館	鶴 川 館	川 鶴 川 館	前 川 館	金 森 館	木 曾 山 崎 館	堺 書 館	市 文 館	民 学 館
I. 資料閲覧貸出	I-1.利用者情報管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	I-2.書誌情報管理	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	I-3.選定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	I-4.資料整理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	I-5.配架	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	I-6.蔵書点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	I-7.貸出・返却	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	I-8.移動図書館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	I-9.予約資料貸出返却	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	I-10.保存・除籍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	I-11.読書相談	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
II. 利用援助	II-1.レファレンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	II-2.電子情報閲覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	II-3.障がい者サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
III. 利用普及	III-1.一般向け普及	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	III-2.子ども向け普及	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	III-3.YA向け普及	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	III-4.障がい者向け普及	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IV. 地域支援	III-5.連携協力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	IV-1.地域支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
V. 図書館企画	IV-2.地域協働	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	V-1.事業計画策定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	V-2.地域館整備及び予約資料受渡拠点整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	V-3.情報システム更改	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	V-6.図書館運営改革	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	V-7.広報・広聴	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
VI. 図書館運営	VI-1.組織運営	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	VI-2.業務運営	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	VI-3.施設運営	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	VI-4.事業評価(図書館評価)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	VI-5.人材育成	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	VI-6.情報システム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	VI-7.外部機関連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

凡例：○実施 ◎共同実施

資料の種類		図書	雑誌	新聞	その他資料	AV	点字	音訳
閲覧貸出事業・業務	書誌情報取得	○						
	書誌情報作成	○	○			○	○	○
選定	選定	○	○	○	○	○	○	○
	発注	○	○	○	○	○	○	○
資料整理	寄贈受付	○	○		○	○	○	○
	受入	○	○	○	○	○	○	○
	新着案内	○	○			○	△	△
	日中友好相互寄贈	○						
	装備消耗品発注	○	○		○	○	○	○
	装備	○	○		○	○	○	○
	配架	○	○	○	○	○	○	○
蔵書点検	蔵書点検	○	○		○	○	○	
	書籍資料閲覧	○	○	○	○		○	
閲覧	視聴覚ブース管理					○		
	リクエスト	○	○	○	○		○	○
貸出・返却	相互貸借	○	○				○	○
	貸出	○	○			○	○	○
	督促	○	○			○	○	○
	返却	○	○			○	○	○
	不明	○	○			○	○	○
	修理	○	○	○	○	○	○	○
	弁償	○	○			○	○	○
閉架・除籍	閉架	○	○		○	○	○	○
	除籍	○	○	○	○	○	○	○

△…2ヶ月に1回、東京都へ製作情報を報告し、その後、東京都がまとめた一覧を各利用者に発送しています。



図書館事業計画(2013年度～2017年度)

発行日 2013年4月

発行・編集 町田市立図書館

〒194-0013

町田市原町田3-2-9

電話 042-728-8220

刊行物番号 13-6

庁内印刷